

# 組合五十年のあゆみ



阪神造園建設業協同組合

# 目次

挨拶 理事長 坂上 信明	1
祝辞 国土交通省近畿地方整備局長 森 昌文	2
祝辞 大阪府知事 松井 一郎	3
祝辞 大阪市長 橋下 徹	4

## 公開造園フォーラム

記念対談（千堂あきほさん&若生謙二先生）	8
造園トーク会	15

## 組合50年の概要

阪神造園建設業協同組合50年の動き	31
組合員数の推移および事業費内訳の比較	32
歴代理事長・組合関係物故者・役員一覧	33
阪神造園建設業協同組合の組織・スタッフ	37
現在取り組んでいる事業	38

## 組合員のプロフィールと作品紹介

株式会社 稲治造園工務所	49
内山緑地建設株式会社 関西支店	49
大阪造園土木株式会社	50
株式会社 大阪緑花	50
株式会社 大西東山造園	51
関西植木株式会社	51
関西造園土木株式会社	52
関西緑地開発株式会社	52
近鉄造園土木株式会社	53
京阪園芸株式会社	53
株式会社 三芳園	54
株式会社 昭和造園土木	54
株式会社 関造園土木	55
株式会社 竹中庭園	55
株式会社 田中造園土木	56
株式会社 辻本龍松園	56
株式会社 庭樹園	57
東光園緑化株式会社 関西支店	57
株式会社 奈須造園	58
株式会社 西川造園	58
阪神園芸株式会社	59
富士造園土木株式会社	59
株式会社 明治園	60
株式会社 山都屋 大阪営業所	60
編集後記	61

# 阪神造園建設業協同組合 50周年記念誌の発刊にあたって



阪神造園建設業協同組合  
理事長

坂上 信明



阪神造園建設業協同組合設立50周年記念誌の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

阪神造園建設業協同組合は昭和40年9月28日に設立され、平成26年9月で満50年を迎えることとなりました。昭和45年に大阪の千里で開催されました日本万国博覧会の5年前のことです。万博の準備の為、阪神間の造園業者24社で結成され、以来半世紀を過ごして参りました。その間、オイルショック、国際花と緑の博覧会、バブルの崩壊、阪神淡路大震災、公共事業の削減、アメリカでの同時多発テロ、東日本大震災、等々国の内外で大きな出来事がありました。

そんな中、日本の社会経済状況も大きく変化して参りました。当然ながら当組合も大きな影響を受け、苦しい運営を余儀なくされた時代も多々ありました。しかしながら諸先輩方の真摯な努力と熱意により多くの困難を乗り越え、新たな事業に挑戦し、組合の精神は営々と引き継がれ今日に至っております。これもひとえに組合員の皆さまのご支援、ご協力の賜物でありますと共に諸官庁や多くの諸団体の皆さまに支えられて全うできたことと心から感謝しております。

その感謝の思いを込めまして、平成26年9月28日に50周年記念式典を開催いたしました。この記念式典では、造園界の発展を祈念いたしまして公開造園フォーラムを企画し、四季の情景を歌った曲をバックに日本の風景や自然のありがたさを語っていただき、また、造園各分野でご活躍中の方々から、今の造園のお仕事について熱く語っていただきました。これらの内容は、この記念誌に掲載しておりますので、是非ご一読いただきたいと思います。

また、この50年間の推移や現在取り組んでいる事業、組合員のプロフィールなども掲載しておりますので、当組合の歴史の一端を知る手がかりとなれば幸いです。

当組合を支えていただきました多くの皆さまへの感謝の念を忘れることなく一層精進し、次の50年を迎えたいと願っております。今後とも、阪神造園建設業協同組合の活動に更なるご支援、ご協力をお願いいたしますと共に、造園界の発展を祈っております。

# 祝 辞



国土交通省近畿地方整備局長

(平成26年9月現在)

森 昌文

このたび、阪神造園建設業協同組合が設立50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃から国土交通行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜り、この紙面をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

貴組合は、昭和40年に設立され、国、府県、市町村の緑化事業への協力や、造園技能習得に関する講習、検定事業の推進など近畿圏の造園建設業界の健全なる発展と、専門的な環境緑化技術の発展に努めてこられました。

これまで貴組合の運営、事業にご尽力された歴代役員をはじめとする組合員の皆さま、ならびに関係各位に対しまして、深く敬意を表します。

さて、貴組合は担っておられる都市のみどりは、都市の防災・環境向上の機能を果たす基幹的な都市基盤であります。加えて、本格的な人口減少社会を迎え、活力ある地域の創生のための、地域の顔となるような風格ある景観づくりや、都市公園の再整備・長寿命化といった新たな分野へのニーズも高まってきております。

このように、植物や景観を扱う造園界は、今後その重要性がますます増してくる分野です。貴組合におかれましては、引き続き技術力の向上や優れた人材の育成に努められることにより、社会の要望に応じていかれることを期待しております。

結びとして、阪神造園建設業協同組合ならびに組合員の皆さまのますますのご発展を祈念しまして記念誌発刊の祝辞とさせていただきます。



国営淀川河川公園 背割堤の桜

# 祝 辞



大阪府知事

松井 一郎

阪神造園建設業協同組合が、設立50周年の節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また、半世紀にわたり豊かで質の高いみどりを造り、快適な生活環境の創出にご尽力いただいておりますことに、深く感謝の意を表します。

さて、貴組合におかれましては、昭和40年9月の設立以降、日本万国博覧会、国際花と緑の博覧会、全国都市緑化フェアなどにおいて、その高い技術力を発揮されてこられました。現在も“日本の造園技術の粋を集めて造られた名園”といわれる万博記念公園の日本庭園の維持管理をはじめ、府営公園の植物管理業務などにおいてその技術力を活かすとともに、施設の魅力向上に貢献いただいております。

みどりは、人々に安らぎや癒しを与えるだけでなく、品格ある都市環境の形成に不可欠なものとして、近年その重要性は益々高まっております。大阪府としましても「みどりの風を感じる大都市・大阪」をめざし、都市公園や街路樹の整備をはじめ道路、河川に加え民有地も活用した緑化を行うなど、地域や企業の皆さまとともに、みどりづくりに取り組んでおります。

引き続き、みどり溢れる大阪を目指して全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

結びに、阪神造園建設業協同組合のご発展と組合員の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念しまして記念誌発刊の祝辞といたします。



大阪府営山田池公園  
花菖蒲園

# 祝 辞



大阪市長

(平成26年9月現在)

## 橋下 徹

阪神造園建設業協同組合が設立50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、平素から大阪市の公園・緑化行政をはじめ、大阪市政の推進に多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

皆さま方におかれましては、多年にわたり造園技術の向上や継承、普及啓発に努められ関西造園界の発展に大きく貢献されるとともに、水と緑の美しいまちづくりの推進にも取り組まれ、そのご熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表します。

さて、大阪市においても花と緑あふれるまちづくりを進めるため、都市公園や街路樹の整備はもとより様々な緑化事業を推進してまいりました。しかし、都市の高度・高密度化や少子高齢社会の到来など緑を取り巻く情勢やニーズは大きく変化してまいりました。こうした変化に対応し、緑のソフト・ハードのストックを活かしながら「ランドデザイン大阪」等との整合も図りつつ、都市公園をはじめとした公的施設整備中心から、建物の屋上や壁面を含めた民有地の緑化、更には身近な緑の保全・創出を進めていく市民や事業者の取り組みの指針として「新・大阪市緑の基本計画」を平成25年11月に策定いたしました。

この計画に基づき公園緑化事業を進めているところですが、中でも大阪城公園や天王寺公園におきましては集客魅力の向上を目的として、民間活力の導入について鋭意進めているところであります。引き続き皆さま方のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、阪神造園建設業協同組合が設立50周年を機として、今後一層の発展をされますよう、また組合員の皆さまのご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、記念誌発刊の祝辞といたします。



大阪市宮長居公園  
植物園

● 公開造園フォーラムの趣旨 ●

# 公開造園フォーラム



## 公開造園フォーラムの趣旨

- 阪神造園建設業協同組合は1965年、日本万博開催の5年前にこの万博準備に向けて地元の造園業の力を結集するために設立され、2014年9月に設立50周年を迎えました。奇しくも万博輸送のために運行された東海道新幹線開通と同じ年になります。
- 以来、半世紀、社会状況を反映してそれなりの起伏はございましたが、今日まで継続できておりますのは、造園界をはじめ造園業を支えていただいた多くの皆さまのお陰でございます。
- そこで、設立50周年を記念しまして、ご支援をいただいた造園界のために社会貢献をいたしたく、公開造園フォーラムを企画いたしました。
- フォーラムの構成は、前半が千堂あきほさんと若生謙二先生に「身近な自然を感じる造園力に期待する」というテーマで、対談をしていただきます。随時、大阪チェンバーオーケストラによる、季節や自然を奏でた曲を挟みながら、身近に感じる自然を演出する造園の仕事と、市民に密着した造園力のアピールを語り合っていただけることと思います。
- 後半は「造園の仕事の可能性」というテーマで、造園に携わる夫々の分野でご活躍中の4人の造園人にお越しいただきまして、今されておられるお仕事のお話を伺い、造園の仕事の奥深さを紹介していただこうと思います。また、これからの仕事の夢や願望をお話いただき、造園の仕事の将来性についてヒントを与えていただけたらと期待しております。

対談者



千堂あきほさん  
(女優)

兵庫県尼崎市出身、宝塚北高校演劇科1期生  
トレンディ女優として活躍、スキューバダイビングや家庭菜園が趣味、2女の母、現在ラジオやテレビ等で幅広く活躍中。



若生 謙二先生  
(大阪芸術大学教授)

大阪芸術大学教授、大阪府出身、農学博士、動物園研究・デザイナーの第一人者。ニューヨークセントラルパークの研究に取り組み、セントラルパークシンポジウムや造園展をプロデュース。



演奏 大阪チェンバーオーケストラ

指揮 河野 正孝

独唱 北爪カオリ

プロローグ

**若生** 阪神造園建設業協同組合設立50周年を記念しての公開造園フォーラムの対談の趣旨は、造園の魅力を広く世間にアピールすることだろうと理解しており、そのためにまず、自然の美しさを歌った唱歌を演奏しながら造園の魅力について語ってはどうかと考えております。千堂さんは自然は好きだと伺っておりますが、音楽は好きですか。

**千堂** 自分で歌っていたこともありましたが、やはり聴くほうが好きです。自分で歌うより色々なジャンルの曲を楽しめますから。今日は唱歌をたっぷり聴きたいと思います。

このようなオーケストラをバックにして歌を聴きながらお話をするのは初めての経験なので、今日はすごく贅沢な気分ですね。すごく楽しみです。

**若生** ではご参加の皆さんも贅沢な時間を楽しんでいただければと思います。大阪チェンバーオーケストラの演奏する音楽を楽しみながら造園の魅力について語り合うことにいたしましょう。

暑かった夏も終わり、ようやく虫の声も聞かれるようになりました。来週からクールビズ期間も終わり、季節は秋へと向かいます。「秋の夜半」そして「五月の歌」を続けてお聴き下さい。

節は秋へと向かいます。「秋の夜半」そして「五月の歌」を続けてお聴き下さい。

戸演奏:「秋の夜半」

- 1 秋の夜半の み空澄みて 月の光り 清く白く  
雁の群の 近く来るよ 一つ二つ 五つ七つ
- 2 家をはなれ 国をいでて ひとり遠く 学ぶわが身  
親を思う 思いしげし 雁の声に 月の影に

「五月の歌」 作詞：青柳善吾

- 1 楽しや五月 草木はもえ 小川の岸にすみれにおう  
やさしき花を見つへ行けば 心もかるし そぞろ歩き
- 2 うれしや五月 日影は映え 若葉の森に小鳥歌う  
そよ風わたる木陰行けば 心もすずし そぞろ歩き



意識しないけど結構身近にある造園の世界

**若生** これから深まり行く秋の気配。故郷を離れて学ぶ青年の秋との対話。対照的に生命の動きを感じる春の明るさと軽やかさ。時として自然は牙を剥くこともありますけども、やはり私たちは日本の季節の美しさや大切さを感じながら、自然との付き合いが繰り返されていくのではないかと思います。快適さや美しさだけでなく、この歌を聴いていると近代文明の力の

源泉ともなったのが、自然の力との付き合いではなかったのかなという気がいたします。

千堂さんは自然がお好きで世界各地を回っておられると伺っておりますが、千堂さんから見て美しいと思われる自然や風景についてお話いただけますか。

**千堂** 私は尼崎の出身で生まれた家のすぐ前を藻川が流れていて、堤防があったり緑があったりするの

通だった所で育ったので、子供の頃は特別に美しい風景とか緑を見たいとか、今のようにはあまり考えたことがなかったですね。春になったら桜が咲いて、夏には夏の季節がそのまま感じられる場所だったんです。尼崎でも家の前にはすごく自然があったんです。どちらかと言うと人の手があまり加えられていない自然を当たり前のように見て育っていたんです。今は子供の頃に見ていた美しい自然がだんだん見られなくなったのが本当に残念ですね。

今は海外に行って海に潜るし山にも登ります。山の例で申しますと、ネパールでトレッキングしたことがあります。高山植物などがあるがままの自然の状態で見られ、それはそれでとても素敵なのですが、そこにもう一つ適切に人の手が加えられるとこの風景は更に良くなるのではないかと思うことがありますね。これからは自然にも少し人の手を加えて助けてあげないと、美しい自然は見られなくなるような気がします。大人になって身近な所でもそんなことを感じるようになりました。

東京と大阪で比べてみますと、東京に行く前は、東京って大都会でビルだらけで緑なんて全然無いと思っていたんですけど、行ってみたら全く逆で、あれだけ都会化されているのに緑がすごく多かったです。近くのちょっとした公園でも凄く緑が多くて心地よく過ごせる空間が沢山ありました。逆に関西を出て外から関西を見ると、何となく緑が少なく感じられて寂しい気がします。

**若生** 今ネパールのお話にもありましたが、自然のままでも十分に美しいけど、そこにちょっと手を加えればもっと素晴らしくなるのではないかということですが、人の手が入られて良いなと感じた街中の風景などはありますか。

**千堂** 例えば、ビルの谷間の人の集まる所で座ってランチをしたりお茶をしながら休憩をする時に、ちょっとした緑で囲まれた空間があるとホッとしますし、子供が小さいからビルの屋上の庭園だとか大きな商業施設の中で公園のようなスポットがあると、のびのびと遊ばせられるので、良いなあと感じますね。

**若生** 子供には遊ぶことが大切ですが、子供さんの遊び場で良かった所とか楽しかった場所はどこにありますか。

**千堂** 今、4年ほど札幌で生活しているのですが、関西や東京にはない大自然が残っていて、20分ほど車を走らせただけで行ける遊びきれないくらい広い緑っぱいの公園は楽しいですね。また、家の近くの公園も子供たちには良い遊び場になっています。緑が多く芝生もきれいで、その芝生で駆けっこをしたりボール

投げをしたり、ただただ緑の中で楽しんでいます。札幌の公園は芝生の中に入ってもいいんです。

**若生** 千堂さんは家庭菜園もなさっているそうですね。

**千堂** 古い家なんですけど小さなお庭があるので、そこで家庭菜園をやったりお花を植えたりして楽しんでいます。その前は西宮市に住んでいたのですが、マンション生活だったので、ベランダに裸足で出られるように芝生を貼ってもらおうと初めて造園屋さんに頼んだら、小さいけどちゃんとしたお庭を造ってくれて、そこに菜園も作ってトマト、キュウリ、ハーブなどを栽培していました。

**若生** 今、千堂さんに語っていただいたこととか場所とか、これは実は全部造園の仕事なんですよ。

**千堂** そうなんですね。実は子供の頃の造園のイメージっていうのは、近所のおじ様達が高い梯子に登って高い木の上で枝を切ってるイメージとか、ちょっと立派なお宅の広いお庭の大きな木を円く綺麗にカットされているとか、盆栽作りのお仕事をされる方が造園の方だと思っていて、私達、普通の生活をしてる家の人とはあまりお付き合いは多分無いだろうな、というようなイメージがあったんです。だから自分が大人になって、マンションのベランダ一つに造園業の方にわざわざ来ていただいて、ちゃんと土を敷き詰めて下さったりして、それを見た時に初めて、こんな庶民の家に来てこんな素敵なベランダを作ってくれるのが造園の方なんだってことを知りました。

**若生** 今おっしゃったのは庭を作るということだと思います。庭を作るということは、家と庭、つまり家庭での楽しみを作ることでよね。じゃあ街になるとどうなるかっていうと、道やビルの緑化とか都市公園を作り、そこで遊びますね。或いは国というレベルになりますと、国立公園などで自然を護って、そこで楽しんでもいただくということになります。千堂さんはまさに造園の世界を横断的に全て楽しみきっていらっしゃる。

**千堂** 造園業ってすごく幅広いことをされる職業だったんですね。本当に無知で申し訳ないと思うんですけど、皆さんの抱く一般的なイメージというのは、今の私のイメージにきっと近い感じだと思います。実際は、ビルの緑だとか養護施設や病院だったり、そういう施設にも緑を幅広く沢山作って下さるわけですよね。そういうことに従事されていらっしゃるという印象は、皆さん、すごく薄いかも知れないですね。

**若生** 造園は結構身近で、テリトリーも広いんですけども、担い手と言いますかね、造園人口の少ない所が今の造園界の悩みでもあります。造園の人材を育てて、色んな分野で自然と関わっていらっしゃる方々、ボランティア活動の方々、市民活動でやってらっしゃる

方々、そういう方々と連携して緑と暮らしを作り出して、或いは護っていくという作戦がどうも必要な

のではないかと思います。今日は後半でその辺りをゆっくりお話できればと思っています。

## 人と地域に馴染んだ街並みづくり

**若生** 街並みの印象ですけど、緑の空間が整備されて行くお話なんですけど、今大阪でも高層ビルがどんどん建設されていて、あべのハルカスなどもできましたし、阪神百貨店も建替中ですが、その高層ビルが位置している都心と緑で何か気づかれたこととか、世界を周られて印象に残った場所とかございますか。

**千堂** 阪急周辺がすごい綺麗になっていますね。昨日も周って来たんですけど、ディスプレイのお花だとかアートのものがすごく増えてきて、駅構内でも緑があって座るところがあって、心地よい空間ができてますね。

ニューヨークに行った時にそうでしたけど、大都会の都心部は緑が多いような気がします。普通はビルだとか高い物があるとそっちに目が行って、緑ってそんなに気づかないと思うんですけど、ニューヨークに行った時はセントラルパークが印象的でした。別にそんなに人が手を加えた感じはしないんですけど、色々な人がパフォーマンスやっていたり、音楽やっていたり、踊っていたり、好きに使っているんですね。本当に人で維持されている、その緑が市民の生活に密着していて、わざわざ公園に行きますよという感じではなく、そこに普通に馴染んで使いこなしているようで、そういうのが日本にもあればいいなあと思います。市民と一緒に公園を造りますよ、造りました、だけではなくて、その後その公園が生活の中に密着していくような仕組みとか活動の仕方だったりとかができれば、もっと自然に馴染んだ公園が増えるのかなと思います。また、高層ビルが沢山できたら、その一部分でもちょっとした木陰を造ったり、ビルの合間に緑に囲まれた休める所があると、都心でもちょっと自然が感じられるのかなって感じがします。

**若生** なるほど。ニューヨークのお話でしたけど大都

会ほど緑をより感じると。それから、セントラルパークには人の手は入っていないように感じるとおっしゃったんですが、元々は340ヘクタールの荒地の所に人工的に造ったんです。今は完全に自然として馴染んでいます。それが大事なんですね。

**千堂** そうですか、そうやって馴染まない駄目なんですよ。

**若生** 馴染まして行くということが大事なんですよ。それと人の力で造ったことを感じさせず、でも人の姿は感じるという今のお言葉、非常に大事だと思いましたね。緑はやっぱり人が使うものだと思いますね。そこでパフォーマンスをしているという姿には感銘を受けます。

一方では、何処の町に行っても画一的に同じになって来たなあという風に感じます。駅なんか昔はそれぞれの趣のある駅舎があったりしましたが、今は大阪の駅か長野県の駅かわからない位の所があるのですが、そんな所に地元の木を植えたり石を使った造園のデザインをして、街づくりに関与していけるというのが造園の仕事です。

**千堂** そうですね、地域性というものが不可欠ですね。北海道には馴染んでいる緑をそのまま大阪に持って来たら馴染むかということ、多分浮いてしまうような感じがしますね。日本全国には色々な緑があって、それぞれがその地域に馴染んだ姿だったり特徴だったり、必要とされる緑だったりっていうのが、あるような気がします。そうやって地域に応じた緑の作り方とかを発想するのは、やっぱりプロの造園の方がするんでしょうね。

**若生** 有難うございます。そういうことに取り組んで頑張っているのが造園です、というところが前半のお話で、意識が共有できたような気がいたします。

### 戸演奏：「花」

作詞：武島羽衣

- 1 春のうらの隅田川 のぼりくだりの船人が 櫂のしづくも花と散る ながめを何にたとうべき
- 2 見ずやあけぼの露浴びて われにも言う桜木を 見ずや夕ぐれ手をのべて われさしまねく青柳を
- 3 錦おりなす長堤に くるればのぼるおぼろ月 げに一刻も千金の ながめを何にたとうべき

### 「夏は来ぬ」

作詞：佐々木信綱

- 1 うの花のおう垣根に 時鳥 早もきなきて 忍び音もらす 夏は来ぬ
- 2 さみだれのそそぐ山田に 早乙女が 裳裾ぬらして 玉苗ううる 夏は来ぬ
- 3 橘のかおるのきばの 窓近く 螢とびかい おこたり 諫むる 夏は来ぬ

### 「紅葉」

- 1 秋の夕日に 照る山紅葉 濃いも薄いも 数ある中に 松をいろどる 楓や鳥は 山のふもとの 裾模様
- 2 谷の流れに 散り浮く紅葉 波にゆられて 離れて寄って 赤や黄色の 色さまざまに 水の上にも 織る錦

### 「冬景色」

- 1 さ霧消ゆる湊江の 舟に白し朝の霜 ただ水鳥の声はして いまだ覚めず岸の家
- 2 鳥啼きて木に高く 人は畑に麦をふむ げに小春日の のどけしや かえり咲きの花も見ゆ
- 3 嵐吹きて雲は落ち 時雨降りて日は暮れぬ 若し燈火の漏れ来ずば それと分かじ 野辺の里

## 新しい四季のある美しい国づくりと造園

**若生** 今、演奏していただいた、「花」、「夏は来ぬ」、「紅葉」、「冬景色」、これらは全て文部省唱歌です。日本が明治維新の後、近代国家を建設して行こうという時に、教育に力を入れて行かないといけない、そして文部省が唱歌を作ろうということで、かなり高い報酬で作曲家を募集したわけです。そうやって日本の一流の作詞家・作曲家がこのような素晴らしい歌を作られたんですね。

私達が子供の頃はまだ教科書に載っていたのですが、最近では教科書から消えているということを知りましたね、非常に残念なことだと思います。

**千堂** 私はギリギリの年代で、1番位は覚えていますが、2番、3番は意外と知らなくて。こうやって四季を感じられる歌ってというのは、最近余り歌われてないですね。だけど、こういう詩ができたってということは、この様な自然が目の前にあったからでしょうね。

**若生** そうなんです。私が今日これを選ばせていただいたのは正にそういうことであって、これだけ美しい自然がいつも身近にあって、この歌を聞くだけで日本の四季と自然がどれほど美しいか、変化に富んでいるか、その当時の美しさが本当に蘇ってきますね。この前、演奏学科の学生とこの曲を聞いた時に、「まあ綺麗な曲ですね！」と、何か新曲のように思われましてね、ちょっとびっくりしました。こういう歌をうまく現代に活用していくというのが大事な気がするんです。それとね、こういう歌詞に歌われていた美しい日本を造園の力で如何に造り出すかが大事ではないかという気がしますね。

**千堂** 私達は普段何となく見ている側なので、何となくそのような情景がいいというのは分るんですけど、そういう場に誰がどのように関わっているのかは正直分からないのが現状だと思うんです。自然とか風景とか造る仕事って何かかけ離れた世界で、何となく別世界の人が別世界の物を作っていて、何となく距離感があるような気がします。普通の人からすると、緑が沢山ある風景の方が良いだとか、色とりどりの花が咲いている景色の方がいい、四季を感じられる場所を見たっていう思いはあ

ると思うんですけど、それらのことと造園とは結びつかない。もう少し身近に造園業の方がいて、仕事ぶりを見たりして、接点みたいなのがちょっとあると、あっそうなんだって思えるんですけど。皆さんと同じだと思うんですが、私は何となくいつも距離感があるような気がしています。

**若生** この歌詞を見ますと、人間の手が入らない自然、それと人間が働きかけてる自然、そういう自然とつき合う、語りかける、手を加えることによって得られる美しい風景というものが大事になるんじゃないかなという気がします。そこで、このような歌からイメージして、自分の住んでいる街や地域がこんな風になればなあという思いや自然の感じ方などを、千堂さんにお尋ねしたいのです。

**千堂** 自分の身の回りに緑細やかな環境があって、そこで生活していたいとは思いますがね。緑が全く無い所で人間で生きていけるのかなあって考えた時に、すごい無理のような気がします。私の経験としては、部屋の中に観葉植物をいつも置くとか、そんなことがちょっと流行ったりしたんですけど。とにかくどこかに緑があると、それを眺めているだけで人間の心って何となく穏やかになったり、腹立つなあと思ってても、お水をやる行為でとっても心が和らいたり。独身の時からささやかな緑に支えられてずっと来ていたような気がします。そして、ちょっと一歩外に出た時にも、外には外なりの緑があって、そこを通るとき仕事で忙しい人でも「あっ今日もこのお花元気」とか思えるだけで、人間の心って何となくちょっとホッとするというか、よし頑張ろうと思うんです。だからどんどん緑は増えたらいいと思いますけど、まず身近な所に少しずつ緑を増やしていく環境が整えられたらいいのと思います。





## 造園との距離感と接し方

**千堂** 造園のお仕事を  
する方って、さっき申  
し上げたみたいに距離  
感がすごくあるんで  
す。でも、お花を買っ  
てきてお家に活けま  
すよというだけではなく  
て、もう少し家の中と

かいつもの生活の中に緑や自然をもっとも取り入れられる環境を作りたい、と思う時があります。そうすると、その場にふさわしい緑をコーディネートして下さる方とか、緑に詳しい専門の造園業の方とかの距離がもうちょっと縮められるかもしれないと思うんです。今回そういうお話ができたらいいなと思ってここに来ています。

**若生** 正にそうでしょうね。距離感を縮めるっていうことなんでしょうね。造園の現場って何か他人事っていうか、公園とか緑地なんかは役所が作って業者が工事してくれるものだって思いがちなんですけどもね。自分たちが獲得して使ってゆく場所にすることが大事なんです。例えば店舗の前に緑の場所があって、そこを自由に使っていいよって使わせて、そこに木を植えたり、草花を植えたりしてもらって綺麗にしてくれれば、そこでバナーを揚げたりしてお店の宣伝をしてもいいですよ。そうすると町がすごく綺麗になって豊かになる。そんなことをやる人は自分達の生活が掛かってるから、造園の素人ではあっても真剣に管理して綺麗にしようとするでしょう。海外ではそういう事例もあるようですし、そういうことはちょっと制度に手を加えればできることだと思うんですね。そうやって造園の現場との距離感をちょっとづつ縮めていく…

**千堂** 造園のお仕事って、今までは他人事のように、ちょっと距離感があってプロの方とか専門の方がやるものみたいな感じなんですけど、参加できる緑づくりっていうか、自分も何か緑づくりに参加していける距離感というのが作り出せるといいなあと思いますね。先生がおっしゃったみたいに、そういう場所はあるんだろうけれど、どうやって探せばいいのか分からない。でも、その気になって探すと結構あちこちに見うけられたりすると思うので、そういう所でホームガーデンみたいな名前を付けて緑を育てるとか、グループの名前を付けて育てるとか、何か自分達で作った感を感じられるように少しずつ皆で分け合って緑を作って、そうすると自分の所だから大事にするし、自分の所だけ

ら気分もいいし、他の場所よりもうちの方が素敵だなと思えますよね。

勝手なことを申し上げて申し訳ないんですけど、何回か街の緑を見てた時に、これやったら私の方がうまいわ、この空間だったらこの花を入れるとか、自分の希望ってありますよね。何かそんなことも含めてちょっと参加できる場所を提供していただけるような、そういう場面があると造園との関わりも身近になるのかな、と思う所ではあるんです。

**若生** 公共地も民間地も含めてそういう使い方もある意味では許容するのもありですね。もっと積極的にそのような場所を確保して、みどりの空間づくりを皆にやらせてみる、やってみる、そして競争していくような自分達の空間、場所があってもいいですね。それが広がっていけばいいと思います。活性化のカンフル剤のようになるかも知れません。

**千堂** 私はいつも言うだけなので、緑づくりやったら絶対私の方がうまいわ、とか言ったりしてるんですけど、でも、プロの方がやる方が当然ですが本当に上手だと思うので、この場所だったらこうしたらいいと思いますみたいなアイデアと、自分はこんな風にしたかっていう希望が重なって、それがうまくコラボになると、すごく素敵な空間になっていくんじゃないかな。それを大規模で考えるというよりは、小規模でも一片ずつ作って行って、その小規模のものが沢山増えて行けば何か広がるかなって感じがします。

**若生** 要するにちょっと角度を変えて見た時に、ここで造園を考えられる、緑を考えられるってことが可能になると思うんですね。私も大阪芸大で仕事をさせていただいてそのことが分かったんです。ちょっと角度を変えてアートの空間づくりを話し合っただけで、皆でいちど緑のことや自然の美しさのことやろうって言ったから、映像学科の人も、舞台芸術学科や写真学科の人もずっと手を上げて、やろうとおっしゃる。そういう力が今度は造園の分野に波及して来る。大切なのは、その力を結びつける間合いですね、おっしゃった造園との距離感ですね。

**千堂** 私は、まず、私自身が生まれ育った尼崎からでもそういう緑の広がる街にして、今までの緑の少ない尼崎のイメージを崩してやる、とか思う時があるんですけど、そういう風に地元をもう少し緑豊かな良い環境にする活動に自分が参加していけたらいいなと思いますね、やっぱり。

## 新しい分野への挑戦と連携

**若生** 変えてやるという思いからスタートすることは大事ですね。それと楽しんでやる、楽しまないとできないと思うんですね。

今日は折角千堂さんとの対談なので、千堂さんのキャリアの中で新しい分野に挑戦する気持ち、覚悟みたいなお話をお伺いしたいと思います。中学3年の時に高校の演劇科に志願されたと同ってますが、やっぱりその時には相当な思いとか決意とかがあったのではないですか。全く未知の世界で情報も無いわけですから、不安いっぱいでしょう。それをぐっと踏み出した時の気持ちってものをちょっと教えていただきたいと思います。それは、既存の分野から新しい分野に踏み出す時のエネルギーの出所、そして、どういう人達と手を携えて踏み出して行くのかというお話の前提となるからです。

**千堂** 実は、私は前例が無い、前例が無いって、この業界に入った時もずっと言われ続けたことがあるんです。でも、私は前例は自分が作るものだと思い続けてたんです。

中学から高校に進む時に初めて演劇科ができて、当然誰も行ったことがないわけです。

両親の勧めもありましたが、よし自分が前例を作ろうと。学生の時から割とそういう気持ちが芽生えて、他の人のしていない所を探し出して前例を作っていきたいタイプなんですね。前例を作ろうってする人は必ず足を引っ張られたり邪魔をされたりとかしますね。そんな無理とか頭からできるわけ無いって言われますよね。でも私は性格もあるんでしょうけど、前例というものは作っていくものだと思っているので、心に思っていることを前例にとらわれずそのまま伝えて、今までずっとこの仕事をしています。やったことが評価され、色々言われて、そして一步を踏み出せる。それが前例となる楽しさで、エネルギー源かなと今は思います。

**若生** すばらしい、それに尽きるんじゃないでしょうかね。千堂さんは中学3年生から高校1年生に上がる時に、初めてできた高校の演劇科に進むか否か悩まれたにしても、自分がこの学校の演劇科の歴史を作るとの思いで行かれ、そしてタレントとしてご活躍なさっているわけですね。

**千堂** 前例を作るかたの方が凄く大変なことだと思いますけど、でも次に繋がればいいですよ。前例になる入り口を作れば、また次の若い方達が通りやすくなる、行けるようになる。ちょっと自分が先に生きた分、ちょっとだけ前に入口を作っていく。この仕事も

そうですし、普段の生活もそうなのですが、何かそのきっかけづくりをしていく。自分が一人でできる時間や範囲ってしていくし、やる気も

失せていくし、諦めも早くなってくるので、その前に何とか次に繋げられる糸口とか入口とか作って、次の方がそこから、よし、続きをやってみようと思って貰えるような仕事ができたらなと思いつつ45年間生きて来ています。

街づくりだったり環境美化だったり、そのような仕事にも関わっていきたくって思いがありますので、これから少しでもそういう仕事や関係する分野で一步、一步前例を作っていける人になりたいなっていう希望があるんです。なので、こういう造園をテーマにしたお話をいただいた時、今まで造園に関係するようなことは何もしたことが無いんですけど、北海道で畑をしたり、菜園を少し始めたりして、まだまだ収穫は無いんですけど、何か自然をテーマに少しやり出したら、そこから見えるものが何かあるのではという思いと、この対談で新しいこと、初めてのことを経験して、少しでもいいから自分が率先して前例を作っていければいいかなと考えていました。

**若生** 異なる分野とどうして接点を見つけるかということですね。造園界という世界が今は関連してないけども、ちょっと方向を探れば関連するような分野もあると思うんですね。

今日も、千堂さんにお越しいただいて対談しているのも、正に芸能界という分野と造園界が緑や街づくりに目を向けて、どのようなコラボレーションが可能かとか、造園の仕事をも身近なものにするためのアイデアを話し合うセッションです。

**千堂** 今日お呼びいただいたのに、私は全く造園のことは知らなくて、お話なんかできるかなと思ったんですけど、でも、逆にそんな私でも少しは緑とか街とか考えているし、同じような人っていると思うんです。そのような人たちに、身近な話題から入って、それが造園の世界に通じますよとお話いただくと、あ、なるほどと、それだったら対談できるかもしれないみたいな、さっきから申し上げているその距離感が縮まって、その次に進めるのかなと思います。

私もこういう仕事をしている限りは色々な分野の人達





と仕事をしますので、同じ職業の方の友達だったり、スタッフの方と造園や緑の話ができるようになるし、そうするとそれで輪が少し広がっていくのかなと思います。今回ここにお呼びいただいたことは造園とのご縁だと思います。

**若生** それと、やはり影響力が一番強力なのは映画やドラマ、小説、物語なども含めてメディアですよ。どうやったらメディアが取り上げてくれるウェーブをつくれるか。

例えば、緑の環境づくりと言うと、皆そうだ、それは良いですと必ず言いますね。だけど、いざ参加行動する段になるとどうなるかという、優先することが沢山あるから後回しと、結果置いて行かれるんですね。何か肩すかしを食らったというような所が多いと思うんですけど、これを克服するのは、私は世論だと確信しています。

世論がやろうと、こういう風な提案を皆でやりましょうと言えばね、皆参加せざるを得なくなると思いますよ。それこそ国も地方もですね。そういううねりを作り出してメディアに届けるのは、やはり色々な分野の人々との連携だと思います。そういううねりを作り出していくことが、私達に求められているのではないかなと、今千堂さんのお話を聞いて思いました。

さて、では、いよいよ最後の曲になりました。唱歌の中でもひととき美しい旋律で春の訪れを歌う早春賦です。

**演奏：[早春賦]** 作詞：中田 章

- 1 春は名のみ 風の寒さや 谷の鶯 歌はおもえど  
時にあらずと 声もたてず 時にあらずと 声もたてず
- 2 氷解け去り 葦は角ぐむ さては時ぞと 思うあやにく  
今日もきのうも 雪の空 今日もきのうも 雪の空
- 3 春と聞かねば 知らでありしを 聞けば急がる  
胸の思いを いかにかせよとの この頃か  
いかにかせよとの この頃か

**若生** いやあ、心がとろけそうですね。春が来て歌おうとするけども、未だ風は冷たく雪も降るから歌えない。春が来たとならなかつたら良かったのに、知ってしまったが故のこの切ない胸の内。自然に人間の心の内面を映しています。日本人の繊細且つ大胆な心が表

現されていますね。

こういう日本人の感性をもってすれば、時間がかかるかも知れないけども美しい国造りっていうのは可能なんじゃないかなと思います。千堂さん、今の早春賦、聞かれてどうですか。

**千堂** 早春賦も含めて今日の唱歌を聞いて、改めて日本の四季を感じられるっていうことは幸せなことだと思います。結構、今は気候がずれてきたとか、何となく四季があやふやだなんて感じになっていますけど、でもこの歌を聞く限りは、やっぱりこの日本にはちゃんと四季があって、春らしく、夏らしく、秋らしく、冬らしくっていう、その一年を通じての緑とか自然を感じられる空間は護っていくべき財産だと思いますね。

そのような場所や場面を少しずつ整え、いっぺんには直せなくても少しずつ軌道修正してあげられる、ちょっとずれて来たらちょっと補正してあげられるような時間とお金の使い方を考え、美しい景観づくりにもう少し国を含め社会全体が努力していただけたらなと思います。

**若生** 今日演奏していただきました唱歌は全部で七曲ですけど、私はこれを国民的音楽として美しい日本を造るテーマソングにすれば良いんじゃないかと思うんですね。それだけ美しい歌と国なんですからね。その時にセットで自然との付き合いの作法を学ぶ、ここを一緒にやらないと駄目です。

そしてその自然美を作る造園の役割をアピールして行く。こういう風にしていけば、造園に対する見方もまた変わった新しいウェーブができるんじゃないかと思うんですね。

造園関係の人は、造園が世間になかなか認知されていないと、よく嘆いてますね。それはやっぱり新しいウェーブを作り出して行かないからです。先程千堂さんがおっしゃった新しいものを作り出していく、一步を踏み出す、そんな気持ちで、造園界だけで考えずに、千堂さんの様な方々、後ろで演奏していただいた音楽家の方々、こういう様々な方々に賛同していただいて、今日のこのような形で広げていって、大国民運動を展開して行けば良いのではないかと考えております。

**千堂** 先生、申し上げておきますけど、そのテーマソングは私には頼まないで下さいね。今は、私は歌いませんので、よろしく願います(笑)。

**若生** 分かりました(笑)。まあ是非そういうことで、色々な分野の方々と手を携えて、新たな世界を切り拓くという思いで造園界、そして阪神造園建設業協同組合の50年の次の一步から次の百年に向けて、大きく展開していただければと思います。今日はどうも有り難うございました。

## テーマ 造園の仕事の可能性

### 語る人



おくむら かよ  
奥村 佳代 さん  
京阪園芸(株) 営業部所属  
徳島県藍住町出身  
大阪府立大学大学院農学生命科学  
学研究科卒(2001年)  
樹木医



ごとう いつなり  
後藤 逸成 さん  
(株)空間創研所属  
愛知県安城市出身  
名古屋造形芸術短期大学卒  
(1995年)  
登録ランドスケープアーキテクト  
(RLA)



なかの ひろあき  
中埜 宏亮 さん  
(株)稲治造園工務所所属  
大阪府大阪市出身  
大阪高校普通科卒(1989年)  
1級造園技能士



はせがわり えこ  
長谷川利恵子 さん  
(株)公園マネジメント研究所  
所属  
静岡県浜松市出身  
北海道大学工学部卒(1988年)  
技術士、公園管理運営士

■ コメンテーター 若生 謙二先生 (大阪芸術大学教授)

■ 進行役 森下 元之理事 (阪神造園建設業協同組合)



## 「今、こんな仕事をしています」

**森下元之 (以下、森下)** 本日は造園に携わる4つの分野から、今、働き盛りの方々にお越しいただいております。前半は、この方々に現在取り組んでおられるお仕事のお話をさせていただきます。後半は、皆さまそれぞれこれからやってみたいお仕事のことなどをお伺いしたいと思っております。

では、4人の皆さまが造園のお仕事に関わったいきさつをまず簡単にお話しいただいた後、今、主にどのようなお仕事に従事されておられるのか、また、そのお仕事の面白みとかしんどいと感じるところがございましたら、面白おかしくお話しをしてください。まず、計画とか設計を主たる業務としているはずの後藤さんからお願いいたします。

### 地球に絵を描くデザインに憧れ

**後藤逸成 (以下、後藤)** 空間創研の後藤でございます。まずは、阪神造園建設業協同組合の50周年おめでとうございます。今日、50周年を記念するフォーラムにお呼びいただきまして誠に恐縮しております。それから、私2001年からですね、グリーンサーカスという関西の緑化推進イベントの方にも携わらせていただきまして、その時に色々ご指導いただいた諸先輩の方々の前に座っているというのが、より緊張を煽る、そんな場でございます。面白おかしくということなんですけども、僕の話ではあまりないと思うんですが、もし、笑えるところがあれば、笑っていただければ幸いです。

まず、この仕事をやる経緯ということですが、僕がランドスケープデザインという言葉初めて聞いたの

がちょうど今から20何年前になりますか、高校を卒業したくらい、ちょっと遊んでおりました、高校を卒業して半年くらい経ったときにある芸術家の方に、どうもなんか地球に絵を描けるデザインがあるらしいぞ、と。そんなスケールの大きなデザインがあるんやったら、と思いつつ、じゃあちょっとやってみようかな、と。その当時まだ珍しかったんですけども、ランドスケープデザインコースというコースがあるような芸術大学に行って、短大なんですけれど、入学して卒業して、ちょうど僕が就職する頃っていうのは、バブルがはじけ、なおかつ、もともと私の時代というのは就職希望者の絶対数が本当に多かった、同級生が多かった時代ですから、とりあえず、どこでもええから就職せな、というふうに思って今の会社に就職をさせていただいて20年近く経っております。

ランドスケープデザインコースは、そりゃエエやんと思って、ちょっと聞いたことないから有名になれるかもしれないなあ、と結構浅はかな思いで会社に入りまして、蓋を開けてみれば、何も知らんから、一からというか零から仕事を覚えた、というのを覚えています。ただ、仕事に係わりだすと、本当に無知ですので、上の人から言われたことも、「あーあ、なるほど」、とか、「へえー」、という感じでいろんな仕事に係わらせていただいて、今、ここにいます。学生時代、一応ランドスケープデザインコースやったら、もうちょっと木の1本でも覚えときゃよかったなというふうに思っているのが今ですね。時々、うちの事務所にインターンシップの子とかが来られるんですけど、その子たちを見たら「偉いなあ」「こんなインターンって聞いたこともないな」と思いながら、学生の頃からこうやって勉強している、デザインの勉強をされてる子たちは本当に偉いな、と思います。

今現在やっている仕事の面白みとかしんどさっていうことなんですけど、最近は一応、公園の計画とか、それから設計、コンサルタントを普通にやらせていただいています。挙げれば、住区基幹公園の基本計画・基本設計、それから都市基幹公園の基本計画、公園の照明設備の設計とか、それから国営公園のイベントのお手伝いとかということをやらせていただいております。もう少し言うと、地区公園の基本計画とか基本設計、それから広域公園の中の



史跡エリアのところの基盤整理の計画であるとか、下水処理場の裏側に公園があるんですけども、そのなぜか照明設備だけとか、それから、今年の10月から11月まで開催されますけども、国営公園のイベントの植栽デザインみたいなこともやらせていただいています。一応公園というのをフィールドにしてやらせていただいております。計画・設計・デザイン・設備設計、何となく何でも屋さんの感じで仕事をさせていただいております。

## 🔑 都市緑化フェアの面白み

**後藤** 私が係わる中で、ちょっと珍しいかなと思うのはイベントになります。グリーンサーカスは、数えるともう入社して今年で20年目なんですけど、多分、14年間ぐらいイベントを担当させていただいています。少し前でいくと、奈良県の都市緑化フェア、それからちょっと前で、鳥取県の都市緑化フェア、それぞれ3年づつなんで6年間ぐらい都市緑化フェアをやっている、という感じになります。都市緑化フェアの仕事っていうのは、一応大きな事業ですので何年間かけて、あーでもない、こーでもないって言いながらいろいろ議論しながら進めていく仕事なんです。当然その空間デザインというの、あーでもない、こーでもないって言いながら進めていきます。ご存じの通り仮設の部分が多いです。要は、造ったら会期が終われば壊してしまう、という部分も多いんです。だから、普通の恒久的なデザインとはちょっと違って、一瞬のデザインというか、1回くらいしか来ないお客さんも沢山いるので、その人たちが満足いくようなデザインというのは求められているのかなあと思います。ただ、そういうものを求められているということは、一応専門家というか、設計とか計画とかをやるデザインする人間としてはやっぱり少しやりがいのある仕事かな、と思います。それから、都市緑化フェアっていうのはゴールが結構はっきりしていて、そのゴールを目指して案外長い期間一緒に物造りをやっていく、場造りをやっていくことになりますので、通常あまり短い工期の仕事やとなかなかないかもしれないんですけど、クライアントの方と仲良くなるとか、発注者それから受注者みたいなものの垣根っていうのはどんどん無くなっていきます。チームとして物造りができる、デザインができるっていうような仕事ですので、ここもひとつ面白い所かなあと思います。本来そうあるべきかなと思うんですけど、なかなか公共の仕事をやっているとそういうのは体験できないので、面白い所かなあと思います。当然、私たち植物とかランドスケープとか自然を相手にしています。鳥取のフェアの時なんていうの

は、私は嵐を呼ぶ男と言われたんですけども、5回も台風が来ました。それこそ会期中に2回来たときは、多分これまで過去の都市緑化フェアではなかったと思うんですけど、2回閉園をしました。ですので、自然を相手にしているということで当然自分たちの思い通りにいかない。例えば、注文した花がその時の異常気象で届かない、みたいなところもあって、結構ギリギリのところ場で造りとか物造りをさせていただいています。その時はすごいしんどいんですけど、今思えばそういうのもこの世界やから、こういう仕事やからできることかな、というふうに思ったりもします。

## 🔑 エンドユーザーの声

**後藤** また都市緑化フェアの話になるんですけど、開催してみると短期間のうちに当然沢山のお客さんがきて、自分もその場にいますので、頼んでもいないのに好きなことを言っているのが聞こえます。普段、私たちの仕事ではエンドユーザーの声っていうのはなかなか聞こえて来ません。聞いてるつもりで、こんなこと言ってますよ、と言ってクライアントに話をしたりするんですけど、案外、生の声なんて全然聞けないっていうのが、私たちの仕事になるんです。それがすぐ横で、「私これ嫌いやわ」とか、「なんかこれ、この空間嫌やわ」とか、「このデザイン私嫌い、もう好きじゃないわ」とか、おばちゃんたちが好き勝手なことをしてくれるわけですよ。ほんまその時は、そのおばちゃん捕まえて、一からデザイン説明したろかなって思うけど、でも後から考えると多分そんなデザインではあかんかったんやろなあ、と思います。みんな、全ての人に「これいいね」って言ってもらえるようなデザインをせなあかんのかなあと感じました。ほんとにおばちゃんにそう言われたときは、デザインっていうか、こういう設計・計画の仕事の難しさっていうか、そういうものを結構感じてましたね。感じられるところも面白いのかなあと思いました。

ランドスケープデザインの仕事は、大きい公園から小さい公園まで色々な種類の公園や他にもいろんな分野の空間の計画それから設計をするわけです。当然、計画内容を把握するために設計現場に出ます。そこで実感したのですが、恒久的なものから仮設的なものも含めて、ランドスケープデザインとか造園に係わる場面は、ほんとに幅が広くて多種多様です。その分、エンドユーザーも多くて、やっぱりそういう方々に「いいね」って言われるようなデザインをしたいと思いますが、それって結構しんどいところもあるんです。だけど、その見返りと言っていいのかどうか分かりませんが、そういうエンドユーザーの人たちが喜んでくれる

というか、「いいね」って言ってくれるような時って  
というか、そんな場面の感動とか面白みを味わえるのも  
この仕事の醍醐味なんかなあと、今回こういうお話し  
する機会をいただいて、改めて考えさせていただい  
て、非常にありがたいと思っております。

**森下** 後藤さん、どうもありがとうございます。ちなみにこの造園トーク会は、ディスカッションは一切ありません。4人の方々の言いつ放しですので、そのつもりでお聞きください。それでは引き続きまして、造園物を施工したり、維持管理をすることが主たる業務としているはずの中埜さんにお話をお願いいたします。

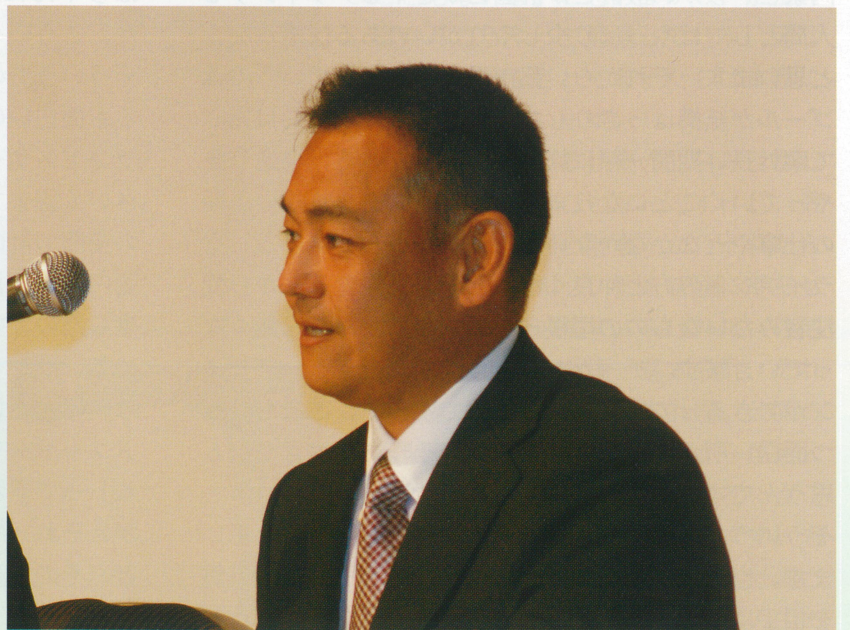
### 🔑 現場で学ぶ

**中埜宏亮 (以下、中埜)** ご紹介いただきました稲治造園の中埜です。私は、造園とは全く無縁の家庭に育ち、高卒でこの世界に飛び込んできました。というのも、今はネクタイをしているんですけども、ネクタイをせんでもいい仕事に就きたいなと思って探していたら、言ったら悪いんですけど、たまたま稲治造園工務所があった、というので、この業界に飛び込んできたんです。現在は、現場で施工管理を会社から任されて、責任ある立場で仕事をしてきています。何も分からなかった時から今に至るまでというのは、色々あったんですけども、私が現在に至るまでの中で、安全管理や第三者に気を配るなどのエピソードを、ちょっとお話ししたいと思っています。今日は学生の方は少ないようですけども、造園業界を共に支えてくれる若い方たちにも聞いていただけたら、と思っています。まず最初に、初めて現場に行った時の話ですが、何も分からん状態で先輩に連れられて石積みみの現場に行ったんです。その頃はまだバブルの頃だったので、先輩は他にも担当現場を持ってまして、「お前ここで待って、仕事やっつけよ」「頼むで、任したで」「後は現場にいる職人さんに全部聞いたらええわ」って言って、別の現場に行ってしまったんです。独りほったらかしで置いて行かれたんです。そこで、何も分からずに職人さんに言われるがまま砂やセメントなど色々運んでたんですけども、石積みみの職人さんが、「お前、そこにある、ゲンノウ取れや」って言うたんですよ。私、新米やから、そんな道具の名前も何一つ分からへん、ゲンノウ

て何を言うてるんやろうこの人って。で、何か取れって言うてるから、適当に金槌を取ったらええわと思って、それを渡したんですよ。そしたら、「こんなもんちゃうわい！」って、それをえらい勢いで投げ返されたんですよ。他にも「目地鏝<sup>めじごて</sup>持って来い」って言われたんですけど、全然違う煉瓦鏝<sup>れんがごて</sup>持っていったりして。今度は、投げられることなかったんですけど、蹴られたりとかね。今では考えられないほど、無知で何も知らない白紙の状態やったんで仕方なかったんですけどね。でも、私もやっぱり、悔しいし、腹立つし、「何を！」と思って、職人さんにうっとうしがられながらも、道具の名前とか、石積みみの仕方、ポイントなどを「あれ何?」「これ何?」と聞きまわりました。どやされたり怒られたりしながら、やっぱり職人さんは教えてくれるんですよ。その職人さんの方々に、現場でやることはすべて教えてもらって学びました。学校で勉強することはほとんど楽しくなかったんですけども、外で仕事することがすごく楽しくて、「俺の仕事はやっぱこれかな」っていうので、この25年間やって来られてるんやと、今、思っております。私がこうやって学んで来られたっていうのは、やっぱり現場に教材がいくらでもあるからです。若い人たちにとっては、職人さんは怖い人らやなと思ってると思うんですけども、やっぱり恐れずに「何を！」っていう気持ちで聞いていって、学んでいって欲しい、と思っています。

### 🔑 失敗して学ぶ

**中埜** あと、もうひとつは、これも失敗の内の一つなんですけども、第三者に対する思いやりとか、施工管理、安全管理に対して配慮が足りなかった失敗談なん



です。これは、新規の造成地の現場やったんですけども、現場は山奥だということもあって周りに誰も住んでいない。昼間でも人があんまりなくて、昼も夜も建設機械を動き回して現場作業をやってたんです。照明もいっぱい使って仕事してたんです。山奥やから迷惑がかかるなんてそんなお構いなしで、派手にやってたんですけども、そしたら、夜中に警察官が現場に入ってきたんです。「何でこんなところに警察官が来るんやろう」って、よく聞いてみたら、一谷向こうの里の方から、「うるさい！」って苦情が来てまして、それで現場作業を止められて、「ああ、しもたなあ」と後悔しました。周りに人家がないから昼夜作業は大丈夫だろうと思ってたんですけども、まさかそんな遠くにまで迷惑をかけていたなんて、思いもしませんでした。こういう失敗を重ねて、第三者や周りに気を配るなど、配慮をすることの大切さを勉強してきました。建設現場ではどちらかと言うと、無茶なことをしたりとかが多いと思うんですけども、私はそういう経験から、自分の現場ではそういうことがあんまりないようにしていきたいと思ってやっています。色々な失敗を糧にここまで成長してきた自分があると思っていますので、これから造園界にやってきてくれる若い人たち、目指してる人たちにも、何事にもチャレンジして、そして失敗を糧に学んで、今につなげて欲しいと思っています。やっぱり失敗を恐れず、チャレンジして、頑張っていて欲しいと思っています。

**森下** 中埜さん、どうもありがとうございました。稲治造園工務所は黙って現場で教えるんですね。それでは、造園のお仕事を受けるための営業をされたり、また、樹木の健康管理をされておられるはずの奥村さんをお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

### 営業はいつもハラハラ

**奥村佳代 (以下、奥村)** 京阪園芸の奥村佳代と申します。皆さま、よろしく願いいたします。非常に緊張しております。声が震えないか心配なんですけど、頑張りたいと思います。私が所属していますのは、営業部営業課でして、私が営業する先、つまりお客さんなんですけど、グループ会社になります。電鉄グループになるんですけど、親会社であります京阪電鉄、あと、グループ会社の電鉄不動産、同じくグループ内にある管理会社があるんですけど、こちらの3つが主な営業先になってます。この3つを軸にして、そこから派生するいろんな法人さんの方に営業に行かしてもらってます。仕事内容なんですけど、いわゆる

電鉄系デベロッパーが、公園とかマンションの企画をして、その情報をいち早く手に入れますと、それから営業に行きます。営業先というのが、だいたいゼネコンさんで、たまにですけど設計会社とかにも行ってます。そこで見積もりとか、提案をするんですけど、どうしてもゼネコンの下に入りますので、皆さんご存知だと思いますけど、非常にもう、ほんとに値段が厳しいです。だいたい私の概算積算の6割ぐらいです。ひどかったら5掛けとかなんです。でも、そんな相手の言うとおりにしてたら絶対利益とか出ませんし、反対に赤字になりますので、そこをいかに利益が出るかっていうのを、相手との駆け引きとかコスト分析をしながらなんとか利益を出すようにやっていってます。ですので、私のやってる営業っていうのは非常に厳しいですね。受注したけども、その価格でそれを誰かがほんとにやってくれるのか、っていうのが最後までドキドキするんですね。しかも、工事が終わってから追加とか発生されると、ほとんど赤字ですし、会社に説明がつかません。仕事を取ってくるわ、何か赤字になりそうだっていう、そういう間に挟まれて、いつもハラハラしています。

工事取れた後も、実は仕事をやっているんです。それが維持管理になります。この仕事は非常に楽しいです。植えたものを、その後もその植物の成長をずっと見続けていけるというのは、この仕事やっててよかったな、非常に恵まれているなって思います。まとめると、私の仕事はまず計画があって、計画図面があって、設計があって、工事をします。それが終わった後も、その成長を見続けている、見続けていけるっていう、一連の流れをずっと見れます。そこが、この仕事を選んでよかったな、と、自分なりのやり甲斐のあるところだと思っています。

### 植物が好きだから

**奥村** そもそも、どうしてこの仕事を選んだかっていうとこなんですけど、理由はほんとに単純なものでして、植物が好きなんです。もう、本当それだけです。私、四国の徳島県が出身地になります。ずっと田舎に育ってましたので、ずっと植物が身近にありました。しかし、娯楽施設っていうのが、今考えたら全くなかったんですね。あったのって、自販機ぐらいかな、みたいな。やってた遊びっていうと、かくれんぼとか、あと、鬼ごっことか、缶蹴りとか。そういう環境に囲まれて適当にびゃーっと育てられたようなものです。そういうことで、小さい時からずっと植物が身近でしたので、徳島を出るときに、大学に進学するにあたって、「じゃあ、どの学部選ぼうかな」って、い

ろいろ選んだんですね。理学部とかいろいろあったんですけど、植物が好きでしたので、やっぱり農学部にしよう。大学4年間行って、大学院も2年行ったんですね。合計6年、結構長い間行ったんですけども。そこで、もう、大学も終わって、世の中に、社会に出ていかなあかんでいうんで、就職活動しなあかんでいうんですけど、私が就職活動してた時って、もう、ほんとに厳しかったんですね。1999年から2000年にかけて就職活動したんですけど、大不況の真っただ中だったんです。企業が全く求人募集してない時代でして、普通に面接とか受けるんですけど、隣に座ってる人が前年からの



就職浪人なんですね。もう、ゾッとします。横にいる人は来年の私かも、みたいな。もう就職できないかも、ひょっとしたらプー太郎かも、とか、そんな焦りがずーっと常にあって、必死で就職活動したんですね。ですので、京阪園芸から内定もらった時は、本当に、もう、本当に嬉しかったです。今でもはっきり覚えています。内定の電話がかかってきたとき。で、そんなこんなで、私、京阪園芸に非常に恩を感じています。私が路頭に迷うことなく、手に職をつけて、ちゃんと仕事が手に入った、勤め上げることができるっていうのは、京阪園芸が私を拾ってくれたからだと、かなり真剣なんですけど思っています。だから、入社1年目からちゃんと恩返していきたい、京阪園芸になんとしてでも恩を返していきたいっていう、その思いで一心不乱に仕事をしてきました。

### **どんどん仕事、どんどん快感**

**奥村** 営業部設計課が非常に忙しいから、人が欲しいということで求人を出して、私が拾われたんですけど、確かに1年目からすごい忙しかったですね。当時の会社の制度が、お客さんからの電話を取った人がその担当になるっていう、今考えたらすごいアバウトな制度なんですけど、そんなのがあって、やっぱり一番下っ端が電話を取らなければいけないっていう、ある意味、使命感みたいなのがあって、どんどんどんどん電話取ってたら、全部私の担当になるんですね。だから、1年目からどんどんどんどん顧客が増えてって、何か、どんどんどんどん仕事が増えてって。周りも忙しそうやから、誰も助けてくれなくて、何かもう、すごいがむしゃらに1年目からすごい働いたっていう記憶があります。人間って、ちょっと追いこまれ

たら結構やれるもんだと学びましたね。分からんなりにもお客さんとこに行って、何かお話して要望聞いて、それを設計にするんです。設計書や図面や提案書にして、それに見積もりをセットにします。それをまた持って行って、打ち合わせをして、まあ、向こうさんも予算ありきですから、何とか折り合いをつけて、形にして受注にしていく。相手の考えなり要望なりがあって、それを受け入れて、具現化して、コミュニケーションを取りながら折り合いを見つけて、落としどころに持っていくっていう。そういうのは、個人邸にしろ、今私が担当している法人にしろ、その規模の大小はもちろんあるんですけど、やってる中身っていうのは全く変わらないです。お客さんありきのものですし、お客さんだけではなくて、会社の人、職人さん、それこそ上司、みんなとコミュニケーションをとって、仕事をこなしていかなければいけないのは、入社してからこの14年間、変わらずやっていってます。いずれにしろ、私がすごく幸せだなと思うのは、小さい時からずっと思ってた「植物が好き」「ずーっと一生植物に係わっていく仕事をしたい」っていう、その芯となる、軸たる部分が全くぶれていないんです。というのも、京阪園芸がそれしか仕事をしていませんので、会社が私をどんな部署に異動させようとも、絶対植物という軸からはぶれないんですね。それがすごく私にとって、この仕事を選んでほんとによかったな、幸せだな、と思ってるところです。最後になりましたが、私にとって仕事は何かっていうと、答えは端的です。麻薬です。私にとって仕事はほんとに麻薬です。ほんとにつらいこととか、ムカつくこととかもいっぱいあったんですけど、仕事が一個成功したとか、お客さんからちょっと褒められると、頭の中にドーパミン

がふわって出るんです。出たら自分でもわかります。「ああ、今出てるな」って。それが出たら、今までのことが全部吹き飛ぶんです。快感に変わっていくんですね。その快感がどうしてもやっぱり忘れられなくて、次の仕事、次の仕事、って、どんどんどんどん貪欲になっていくんです。それでずーっと走り続けてきた14年間なんです。恐らく私のこの性格からいきますと、多分これからもずーっとこんな感じで走り続けていくと思います。ですので、これからもどうぞ皆さん、奥村佳代をよろしくお願いいたします。

**森下** 奥村さん、どうもありがとうございました。京阪園芸はいい人材を採用しましたね。奥村さん、全然緊張していませんでしたね。それではですね、造園の仕事、設計し、そして施工し、でき上がった公園とか施設、あるいは、植物などの維持管理を行うのが造園の基本的な仕事、だとは思いますが。最近では、さらにですね、そのできたものの活用とか、経営支援とか、そういう面からも公園緑地を運営していく業務が造園にはあります。その方面に携わっておられる長谷川さんにお話をお伺いしたいと思います。

### 🗝️ 公園との出会いは札幌

**長谷川利恵子（以下、長谷川）** 公園マネジメント研究所の長谷川と申します。よろしく申し上げます。今、皆さんの話を聞いていると、皆さん卒業してから同じ会社にずっといらっしゃるんですね。会社、大好きなんですよ。私、ほんとにふらふらしていて、いっぱい会社変わっています。今は公園マネジメント研究所なんですけど、そもそも公園のことが大好きだから公園の仕事をしてるんですけども、その間に植物について詳しくなったのかというと、全然樹のことも知らないですし、造園の設計もできないですし、土木の計算もできないですし、何にもわかんないまま、ひたすら公園が好きなために公園の仕事をしています。

公園との出会ってというのは、実は、先ほど千堂あきほさんも札幌にお住まいで、札幌の公園が素晴らしいというお話をされてたんですが、私も30年ほど前に札幌で公園に出会いました。出身は静岡の浜松市なんですけど、すごい田舎で、あんまり田舎で都市公園が1つもなかったんですね。遊ぶところは、川とか、山とか、神社とか、そんなところですよ。その後、札幌の大学に進学したら、札幌には公園がある。世の中に公園がある。札幌の街並みってというのは碁盤の目に整備されてまして、きちんと都市計画の教科書通りに今という街区公園が配置されている。昔は児童公園って言

ってたんですけど、その公園が配置されていて、それから大通公園が町の真ん中であって、郊外には森林公園がある。世の中に公園ってというのはこういうふう配置されているんだな、そこをみんなが楽しそうに使っているんだなと思って、「私、公園の仕事がしたいな」ということで今の仕事をしています。

大学は工学部で、公園とは畑違いなんですけど、なんとなく公園の仕事ができそうな会社に入社しました。土木系のコンサルだったので、基本計画とか、実施設計とか、後藤さんがされてるような、しんどいハードな仕事をしてましたが、やっぱりちょっとハードすぎて、性に合わず、会社を変わったりしました。その後、別の会社で基本構想とか、基本計画とか、少し大きな仕事に携わらせていただきました。皆さんご存知の中では、吉野ヶ里歴史公園とか、飛鳥のキトラ古墳とか。そういった史跡を公園にしようという計画もしてきました。そういったハードな仕事を5～6年したんですけど、何かデザインのセンスがないっていうか、図面を描いても丸でも三角でも、もうどっちでもいいや、みたいな気になってきてまして。ちょっとセンスがないな、と。それから、難しい計画書とか作るのにも飽きてしまっていて、どうしようかなと思いつながら、ちょっとのんびりしていた時期もありました。

### 🗝️ 公園マネジメントとの出会い

**長谷川** それで、19年前、阪神・淡路大震災の年に、一人娘が生まれまして、その後、神戸の方で市民参画の仕事が色々出てきました。その頃、神戸の市民参画のお仕事で有名な(株)環境緑地設計研究所の方にお世話になり、10年ぐらい住民参加の仕事をしてました。ワークショップで公園を設計するっていうのが、今は普通なんですけど、当時は珍しくて、丁寧に皆さんとワークショップをして、公園づくりを考えたりとか、それから、でき上がった兵庫県立の公園で、管理運営協議会の立ち上げをして、市民の皆さんと公園の活用を考えたりしてきました。また、ボランティア組織を作って、ボランティアの皆さんと管理作業をしたり、イベントしたり、そういった仕事を20箇所以上の公園で準備の方と一緒にしてきました。それはそれで楽しかったんですけど、でも、楽しいだけで、何か変わるかっていうと、意外とボランティアの力だけでは変わらないところも多かったように思います。市民参画って皆さんから意見を聞いても、じゃあ、その意見が直接公園の管理に反映されるのか、管理費が必要ですよって言ったら管理費をくれるのか、物を直してほしいって言ったら直してくれるのかということ、そうでもない。市民が主体的に公園管理に係わっていけるって

う、そういう地盤のないところで、じゃあ、これからどうしたらいいのかな、って思った時に、今の公園マネジメント研究所が6年前に設立されて、こちらの方に移籍することになりました。

(株)公園マネジメント研究所は文字通り公園のマネジメントをしています。同じような仕事は(株)ヘッズとか(株)空間創研とかもされてると思うんですが、両社とも物づくりと管理運営、両方されているコンサルタントなんですけど、うちは、物を造ってない。公園のマネジメントだけを専門にしている、多分、日本でただ一つの会社なのかなと思っています。ここで何をしてるかという、それまで市民参画だけではできなかったような公園管理の改善とか、指定管理者や自治体の方とかのお手伝いをして、具体的な管理運営の課題を解決していています。具体的には、その公園の管理状況、今何人来てて、いくら儲かってて、どの辺が足りなくてっていうような調査をして、改善案を提案して、具体的に改善をしていく。それから、長期的な公園のマネジメントプランを作成したりしています。この6年間に30本以上の管理運営計画を作ってきました。その中には、指定管理者の応募資料になってる計画もあります。指定管理者の応募資料は毎年夏に提出なので、長いこと夏休みとお盆休みを取ってありませんが、延々とこの仕事は続くのかな、と思っています。まあ、自慢ですけど、勝率は9割ほどというところですよ。いいクライアントさんに恵まれて楽しいお仕事をさせていただいています。

### 🔑 造園の「普通」を伝える

**長谷川** 公園の管理運営計画を作ったり、管理運営の状況の評価するときに、いつも思うことがあります。



クライアントの皆さんから色々お話を聞かせていただいているんですけども、現場の皆さんがいつもやっていることって、「普通」っていうんですよ。普段工夫してやることを何か教えてくださいという、「普通にやってるから分からへん」って。でも、その毎日毎日のことが、すごくとても貴重なので、それをどういうふうにやってるのかっていうのを、きちんと私の方で読み解いて、第三者に分かるようにしていく、というようなことが仕事なのかな、と思うんです。

指定管理者制度は平成18年度から導入されて、当初は行政の方が民間に公園を任せて大丈夫かなと、ずいぶん心配されたようです。その心配にもおつきあひしてきました。でも、今3巡目ぐらいに入ってきて、民間に任せてもちゃんと普通にやれるじゃんって、皆さん思ってる。その一方で、安心して民間に任せられるようになると、行政の方が現場の状況がなかなか分からない、という現象が発生してきます。つまり、指定管理者は現場で普通にやっているし、行政の方も、指定管理者が普通にやれるようにしてあげている。じゃあ、その普通っていうのが何なのかな。いつ何をして、どういうノウハウで植栽管理なり、運営なりをしているのかなっていうのが、なかなか指定管理者と行政の方で共有できていない、というような状況が見受けられます。そういった、指定管理者を含めた造園の方が普段やっていること、それを、分かりやすく行政の皆さんにお伝えしたり、市民の皆さんにもお話ししていけたらと思います。先ほど、千堂あきほさんのお話の中で、普段公園や緑地を身近に管理しているのは造園屋さんなんだけど、その造園さんがどのようなことを、どうしてしているのかが、身近に感じられない、若干遠い、という話題がありました。その

遠さを埋めるような仕事、皆さんの素晴らしい技術で、何をどうしているの、今このような緑が、公園が素晴らしいのですっていうのをお伝えしていけたらな、と思います。毎日特別じゃなく、普通にやっていることなんですよ。一般の皆さんから見ると、すべて特別なことなんですね。そういった、皆さんが普通にやっているようなことを、私の方で聞かせていただいて、その普通のことが特別に見える方々に、そのわけと目的と技を見出して、整理して、伝えていく、というのが、私の仕事だと思っています。また、指定管理じゃないんですけど、今、某市の街路樹管理の仕事をしてい

ます。役所の担当者って、どんどん人が入れ替わって、5年前、10年前のことが分からない。今何でこの仕事をしているのか分からない状態になっています。担当の方も、造園職じゃない方が造園や緑地の管理をするようになって、それからスタッフの人数も減って、一方で書類が増えて、苦情も増えて、すごい大変な状況になってるんです。街路樹管理の委託を出す時に、今まで通り毎年同じ仕様で委託を出します。どうしてこの仕様で委託を出しているのかが、発注している役所の担当者ですら分からない状況なので、それをちょっと読み解いてくれないか、という依頼がありました。そこで、



街路樹管理を何も知らない素人の私が、造園屋さんに「街路樹剪定ってそもそも何なの？何故するの？何でここでやるの？何回するの？いつするの？」っていう質問をして、それを行政の方にお伝えする、というような仕事です。私は街路樹のこととか、植栽のことはほとんど知らないで、ちょっと素人的な疑問でもって職人の皆さんのお話を聞いて、お伝えしていく、というような仕事をしています。本当に毎日、色々勉強させて仕事をさせていただいていると思います。造園に携わる皆さんにとっては、普段普通にやってるようなことって、実はすごく特別だということを再認識していただいて、そんなことをもっと皆に伝えていけたらいいな、と思っています。

**森下** 長谷川さん、どうもありがとうございました。以上の4名の語る人たちのお話をお聞きになられて、若生先生、何かご感想などございましたらお願いいたします。

**若生謙二 (以下、若生)** 若い人々の熱心な仕事ぶりを聞かせていただきまして、非常に嬉しく思いました。

後藤さんのお話では、緑化フェアというのは、実は鍛える場である、と改めて思いました。それから、中塾さんの石積みの現場で放置された、というお話ですね。

一番鍛えられるのはそういうことなんではないでしょ

うか。失敗を恐れず糧に。こまごまと教えない方がいいのか。40年程前は大学の授業でも実務的なことはほとんど教えてなかったみたいですね。というより授業がない時期がありましたから。でも、そういう人々が今、社長や立派なデザイナーや教授になったりされているんですね。結局、自分で考えるってことなんだと思いますね。

それから、奥村さんの話、いやあ、面白かったですね。生々しい見積もりの話から、会社に対する恩義の思い。今時珍しい。でも、そういう気持ちで接するというのが、あなたの今やってることの全てやと思いますね。これ、私も帰って学生に話したいと思いました。仕事は電話取った人の担当になる、だからどんどん仕事が増える。でも、こなす。着実にこなすことで、未来が開けるんやと思います。これは、従業員管理法として、新たなシステム構築されたいんじゃないでしょうか。

長谷川さんの公園マネジメントのお話。これも、新しいジャンルとして公園マネジメント研究所が設立されて、公園の管理運営計画をされている。実際、指定管理の状況は濃淡があります。淡があれば困るのでね。これも大きな問題なので、濃ばっかりになるように、頑張ってくださいと思います。そして、街路樹管理、びっくりしました。これ、行政空白ですね。まあ、こういうことがないように、また、頑張ってくださいと思います。

## 「これからこんな仕事ができたらいいな」

**森下** 皆さまには、これからどのようなお仕事に取り組みたいのかお話しいただきたいと思います。荒唐無

稽と思われるお話でも結構です。但しですね、造園との係わりは忘れないようお願いをしたいと思います。

## 🔑 緑が直面する4つの課題

**奥村** 先ほども申し上げたんですけど、私、本当にこの仕事が好きなんです。この仕事に就けて、もう、本当に自分は幸せだな、と、思っています。造園業っていうのは、非常に魅力あふれる仕事で、世間の皆が造園業を羨ましがっているんじゃないかと思うくらい、自分のこの業界に誇りがあるんです。

ただ、最近ちょっと仕事で企業と折衝なんかすることが多くなってきて、そこで思ったんですけど、何か実は自分は勘違いしているんじゃないかな、と。世間は、私が思うほどこの造園業に魅力を感じてないんじゃないかな、というのを肌で感じるようになってきています。といいますのも、仕事柄建築関係の方々と一緒にさせていただくことが最近増えたんですけど、やっぱり日本で、まだまだ建築ありき、なんです。簡単に言いますと、予算ですね。予算を建築にびやーっと取られますし、また、工事が始まったら、工期もほぼ建築側で占めて。

造園なんて、最後の最後の方にちょろっと、いいからやれ、みたいな感じでやらされてますし、あとは、世間の注目度ですね。最近でしたら、都市景観や街並みのグッドデザイン賞ですとかありますが、ああいうのは、まず建物ありきですね。造園というのがクローズアップされるのがあんまりないんじゃないのかな、というのを感じてきています。

それから、世間で自然がすごく大切、とか、緑、植物というのは人間に癒し効果がありますよ、とか言われてますけど、だったら予算割いてよ、と思います。全く予算も割いてくれなくて、何かあったら削られる対象が植物っていうのを経験すると、日本人って本当に植物好きなのかな、とか、大切にしているのかな、という疑問を最近感じるようになってきてます。

私の思いとしては、理想なんですけど、4つあるんです。

まず、最初の計画段階で設計図面にしっかり緑地を設けて欲しいんです。今は法律で決められた緑化比率だけをクリアしようとして、小手先と言いますか、壁面緑化とか屋上緑化とかで済まそうとしているのを感じてきています。建物とか駐車場とかがお金を生むっていうのは、非常によくわかるんです。知り合いに言われた言葉で、「アスファルトは金を生むけど、植物は金を生まん」てはっきり言われたんです。それ聞いたとき、ちょっとびっくりして、まあ、世間っていうのはそういう風に見ているんだらうなって感じたんです。

それでも、緑地に面積をもう少し割いてほしいと思っ

ています。

次2番目ですが、造園の工事費の少なさ。建築費なんて、何億、何十億ってかかって、その中で造園なんて何百万、よくて何千万なんです。わずか数パーセントの世界やと思います。もうちょっと、1パーセントでも0.5パーセントでもいいので、建築費から造園の方へお金を割いてほしいなと思います。

3番目が、実際に仕事が始まった時の工期です。最後になる造園工事は工事期間がほとんど無いから、現場に行くとかやっつけ仕事なんです。もう、何でもいいから工期内に間に合うようにやれ、仕上げろ、明日検査や、という状況でバタバタとやらされている。それではやっぱり、造園業の職人さんのプライドとかやり甲斐感っていうのは保てないと思います。

最後が、でき上がってからの維持管理費です。建築サイドの考えでは、造園なんてできて終わり、その後の維持にお金がかかるなんて思っていない。しかし、植物は年月が経てば経つほど育っていくので、理論的にいけば、時間が経てば経つほど維持費がかかるはずなんです。その辺わかってくれないのが、やっぱり悲しいな、と思います。

## 🔑 造園の価値を理論的に説く

**奥村** こういうふうに4つの私なりの思いっていうのがあるんですけど、ただ何か、この思いっていうのは、感覚的なんです。私が言っていることって、所詮、お金と時間かけたらいいもんです。よって言うだけなんです。じゃあ、いいもんでどういふものなの、ってことなんです。感覚的なもので、相手を説得させるだけのものではないんです。そもそも、造園業っていうのは感覚的な仕事だと思います。よく言えば、ファジー、あと、曖昧さとか、臨機応変さがありますね。結構、図面で書かれているとはちょっと違うものになってたりとかが時々あります。

相手を説得するには客観的に説明することが大事なんです。例えば、水はけが悪いから植物なんか育たんわ、とか言うんですけど、じゃあ、水はけ悪いっていう根拠って何なの？それを植栽基盤診断士でしたら、ちゃんと説明できるんです。1時間あたり1cmから3cmしか捌けないようでしたら生育は不良、これが1時間あたり5mmしか捌けないようでしたら生育は不可、完全に枯死ってはっきり言えるんです。こう言った診断基準がはっきり出てますと私どもも建築サイドに言っていけるんです。これでは絶対駄目です、暗渠排水取ってくれないと植物の生育は保証できません。暗渠排水する為にはこれだけ費用が掛かります

と、そういうのが訴えかけて行けるんですね。彼らには感覚で説明しても全く納得してくれません。まず数値です。数値・実績。これを出して行かないと動いてくれない、動かないイコールお金を出してくれないんですね。

植栽基盤診断士とか樹木医っていうのは割と造園界の中でも理論的かなあって思ってます。私は植栽基盤診断士と樹木医の資格は取ってるんですけど、今まで実務・営業的な仕事がかかり忙しくて、資格を活かしたそっちの活動は全く殆どしてない状態だったんです。樹木医会の皆さんに申し訳ないなあと思うぐらい活動してないんですけど、今後は社長がOKって言うのでしたら営業量を減らしていきまして、仕事を選ばせて貰いたい。少し樹木医とかの方にシフトして行って理論的なことを蓄えて建築サイドの方から沢山お金を取ってきたいと思っています。お金の取れる造園の仕事イコール造園業の地位の向上ですね。あと、造園業の給与水準を上げていきたいです。やっぱりどうしても世間から比べると低いので若い子から見ると魅力が無いと思われると思うんですね。給与水準上げて行って、造園って言うのが世間から一目置かれるような憧れの職種になるような仕事にしていきたいって言うのが私の思いです。

**森下** ありがとうございます。愚痴にかこつけてきっちり自分の要望をおっしゃいました。

続きまして後藤さんよろしく願いいたします。時間がちょっと押してますのでコンパクトにできましたら

助かります。

## 🔑 公園のステージアップを

**後藤** これからどんな造園の仕事に取り組みたいかってことなんですけど、20年近く計画とか設計とかに携わってきて、今後もランドスケープアーキテクトとしてまだまだ変わらずこういう仕事を続けていけたらとは思ってますけど、この業界は中々そういう風には回っていかないな、という気がします。ただ、どのようなポジションにあってもエンドユーザーの方、クライアントが欲するような場づくりとか物づくりって所には関わって行きたいと思っています。

今やはり防災とか環境とか景観とか、それからレクリエーションとかバリアフリーっていうのはいわば当り前のようなお題目になっていて、それにちゃんと答えられような造園のプロになるということが1つ目標としてはあります。ただそれに加えて、先程市民と緑との接点みたいなことで言われていたと思うんですけど、公園の価値を上げると言うか、そういう仕事、場づくり、物づくりってところにも携われれば良いのかなと思っています。

東京の方へ行くと、公園の中にスターバックスが在って、緑を楽しむために公園に来る人の結構楽しみになっていて、また、今まで公園に来てなかった人でも、ちょっとスタバ行こうかなって、公園に行く動機づけにもなっている。これは法律では公園施設として認められているんですが、もっと柔軟な発想で公園を利用する、使うことを考え、価値を上げていけないかなと





思います。例えば、法的には未だ問題があると思いますが、大きな広場とか遊具があるところに一時的な託児所を作ってみたりとか、学校の近くにあるような公園であれば学童保育の施設を作ってみるとか、結構まだまだアイデアを出せるんじゃないかと思います。私が20年間やってきた計画とか設計というところからもう一段公園のステージが上がるような、そんな仕事をするのも面白いかなあと思っています。正直アウトプットとか何も想像しないで荒唐無稽なことをしゃべってますので、無理なことは無理なんですけど、何か新しいムーブメントみたいなことを提案し、コンサルとして新しい世界を開いていけたらと、ちょっと生意気にもそんなことを思っております。

### 🔑 コラボイベントで造園に触れる

**後藤** それから現実味が無いことでも良いて言っただけで、ついでお話ししますが、先程ちょっと話した緑化フェアのことです。実は30年程前、第1回全国都市緑化フェアは大阪の服部緑地で開催されます。現在、大阪府営公園は19箇所ございます。それぞれ指定管理者の皆さんが頑張っ、日々切磋琢磨されて、利用者のことを考えて一所懸命公園管理とか活用プログラムとか色んな取り組みをされてます。そんな中で例えばなんですけど、19公園の全ての府営公園を会場にして緑化フェアをやってみたらどうか。今まで日本で19箇所の会場を一つのイベントとしてやった緑化イベントっていうのはまず無いんです。

先程、千堂さんも言っただけ一般の人と造園の方との接点、それから我々も造園界にいますので、我々とエンドユーザーの接点というのも、未だほど遠い所にいると思うんですね。

それが案外近くになるきっかけというのがイベントだったりするのかなと思います。ですので例えば次世代緑をテーマにしたフェアみたいな感じで、ポンと火花

を打上げて面白いのではないかなと思うわけです。

最後にランドスケープコンサルタンツ協会（CLA）関西支部幹事としてちょっと言わせていただきますけども、我々CLAも結構困っています。これからどうやって造園界を盛り上げていくのかと困っています。例えば緑化フェアでもいいんですけども、CLAと造園組合の皆さんと一緒に何か場づくり、物づくりってことをできる

ようになれば、多分今以上のパワーってものが出てくるし、若い人達へ発信する造園の魅力を探し出せるかも知れないし、諸先輩方の英知と言いますか、今まで取り組まれた技術っていうのも伝えて行くのができるようになるかも知れないなあと思ったりしてます。私も造園界に身を置かせていただいているので、オール大阪または関西造園界という形で、できるだけ多くの人達に何か発信できるようなことができないか、エンドユーザーの方々との接点という所を考えたなら緑化イベントのようなものになったりするような気がするのですが、そういう意味ではCLAの特色を活かして、私もその一員として関西造園界を盛り上げて行くような仕事にこれから携わっていったらなと思っている所でございます。

**森下** どうもありがとうございました。まずできるところから一回行動を起こしてみましょ。

それでは長谷川さんよろしくお願いたします。

### 🔑 公園が無かったら死ぬ

**長谷川** 私が言いたいことも既にお二人がお話しされたことで、また、前半で若生先生も緑とお金の話とかもされたので、それに関連して2つだけお話しします。お金の話ですと医療や福祉、これらにはお金をかけますね。それをかけないでは死んでしまうので。医療や福祉は大事だけど、「公園は無くては死なないよね」ってのはよく聞きます。しかし、お話ししたいのは、「公園が無かったら死ぬよ！」と言う様なことです。じゃあ「公園が無かったら死ぬ」と言える公園は、どのような公園なのか。もう10年ぐらい考えてるんですけど、参考になるのはコンビニだと思います。皆がとりあえず行く場所、ちょっと困った時は何か解決できるかなあと思っ、とりあえず行く。で、そこで人に会う。24時間開いている。誰でも気軽に行ける。公園とコンビニ、すごい良く似てるんです。この10年

ぐらいの間にコンビニは更にコンビニエンスな形になってしまいました。

例えば震災の時は帰宅困難者のフォローをしますとか、物資を供給しますよという様な協定を結んだり、色々なお困りごとを解決したり、銀行も有りますし、コピーも有りますし、本当に多分コンビニ無かったら困るよね、死ぬよねって思っている人は沢山いると思うんですけど、まあそれに近い役割を公園で果たしてあげたらなと思っています。まあ、とりあえず公園に行こう、公園に行ったら誰かいるよ、ちょっと困ったことは解決できるよ、そんな場所になれたらいいかなと思います。

緑と全く関連しないんですけど、以前、某公園で携帯電話の使い方を来園者に教えてあげたことがあります。そこまではするのかなあと思う所もあるんですけど、公園の常連さんが来て「メールが使われへんねん」て言うから、公園スタッフの方が「じゃあちょっとメールの使い方教えましょう」と。そのちょっとしたことで公園の味方が増えていくんじゃないかなと思うんです。公園でそういったサービスを受けられたら公園に感謝してくれるだろうし、公園のこと好きになってくれるだろう、また公園に来て、もしかしたらボランティアとかのお手伝いをしてくれるかも知れないし、お金を出してくれるかも知れない。きっかけは携帯電話かも知れないし、健康づくりかも知れないし、時間つぶしかかも知れないですけど、誰かしらが何かしらのきっかけを掴んで、とりあえず公園に行こう、どんどん公園の味方を増やしてあげたらいいかなと思っています。そのような方が増えたら、人生に公園が有って良かったなって、思っただけじゃなくないかなと思います。私はこれからはそういったお手伝いをしていきたいと思っています。

### ジャンルを超えて繋がる

**長谷川** それと最後にもう一つお伝えしたいことは、前半若生先生も皆さんもおっしゃってたと思うんですが、造園界の中だけじゃなくて、色々なチャンネルに繋がりを作って行って、もっと花や緑の豊かな社会を作っていこうよというムーブメントを盛り上げてあげたらいいな。もっと色々なチャンネルに繋がる中で色々な体験をしたり、色々な業種の方のニーズを掘起したりして、公園がコンビニのような役割を担えるような色々な機能を出して行って、人生に公園が有って良かったな、という社会を作っていけたらなと思います。

造園界の皆さんの共通認識だと思うんですが、実はこの業界の方々がすごく優しくて良い人で、この業界

の中で仕事をするのってとても心地良いんですよね。何かこう裏切ったりとか、意地悪したりとか、そういうことしないですし。でも、逆にそれがちょっと世間知らずな面でもあるし、生ぬるいところじゃないかなと思います。もっと異種分野と繋がりを作って、苦労しながらも活動範囲を広げていくことが大事だと思います。

**森下** どうもありがとうございました。では最後になりますが中埜さん宜しくお願ひいたします。

### 地球温暖化防止のための取り組み

**中埜** 私が取り組んで行きたいと思っていることですが、私はこの地球の温暖化っていうのがすごい気になってまして、これを止める一つの手段としてやっぱり緑というのがあるかと思うんです。この温暖化が原因で大雨や台風の被害、猛烈な自然災害、等々増えて来てると思うんですね。私の会社は箕面にあるんですが、先日も毎週のように箕面や池田の付近で豪雨があり、会社の同僚たちと防災や後始末で泣きそうになるくらい駆けずり回ったことが多々あったんですけども、その豪雨の元となる地球温暖化防止の一つの手段として、都市の自然回復とか緑化があると思います。また、人々の憩いの空間としても都市緑化は有効だと思っています。

今現在、私は都市緑化に関わって施工していることが多くいんですけども、でき上がった時にはすごく良いけども、これが5年後、10年後経つとやはり土壌が少なくなるとか、下の地盤が悪いから樹木が衰退したり、弱ったりということが多々あるんですね。

なので、私は、これらの問題を解決するための植栽技術や緑化技術の向上、また植栽材料の改良などに取り組んであげたらなと思っています。夢のような話なんですけども、例えば根っこが伸びるスペースが少なくても十分育つ様な品種の開発とか、少ない有効土層でも植物の成長を妨げない土壌などの開発もあればいいかなと思っています。これから先もっともっと総合的に設備や土壌、新しい品種開発に取り組んで、これからの都市緑化に合った物づくりをどんどん勉強して、大阪を始めとする多くの都市にもっともっと緑を増やしていけたらと考えています。

**森下** どうも皆さま方ありがとうございました。

4人の方々の夢、要望、愚痴、色々おっしゃいましたけど、若生先生簡単で結構ですのでコメントをお願いいたします。

**若生** 4人の方の全体のお話の内容、非常に感動しました。

造園を憧れの職業にする、これはかっこいいですよ。給与水準が上がらなかったらそりゃ憧れになりませんわね。おっしゃる通りです。では、どうやって地位向上、給与水準アップしていくのか。儲けなあかんということですね。そこで関わってくるのが、人が集まる所にはお金が回る、ということです。最近知ったのですが、服部緑地には年間540万人も集まるそうです。イベントが多いんですよ。びっくりしたんですけど、これはほっとく手は無いですよ。公園のライバルというか参考になるのはコンビニという話、おっしゃる通りですよ。花見のシーズンになると公園の前のコンビニは儲けているわけですよ。公園もですね、ある程度お金を使ってもらって、楽しんでいただくという、うまい仕組みを考えた方がいいですね。

コンクリートじゃなかった、アスファルトってお金になるけども植物はお金にならないっていう話がありました。植物がお金になる方策を考えましょう。造園がクローズアップされないとはいいますが、クローズアップされるようにしましょう。

何処やったかなあ、スイスのバーゼルやったかなあ、何処かで見たなあ、木陰の下でね皆さんワイン呑んでるんですよ。これが非常にお洒落なんですよ。和食や日本酒が今またクローズアップされて、ブームになってたりしてますね。日本酒は木陰で呑むと更に旨いで

すっていう風なね、何かそういうの作るんですよ。そういう作戦をね。この前もヨーロッパでTVのニュースを見ていたら、杜氏の掛け声と共に、酒を楽しむ欧州の人々の姿が映し出されていました。日本の酒がブランド化していったる訳ですよ。例えはお酒ばかり言ってますけどね、そういう公園の野外での楽しみというのがブランドになるということを言いたいです。良いお茶でもいいし、音楽でもいいですよ。AKBとの握手会でもいいですよ、そういう色々なジャンルの企画を組んでいくというのが、手ではないかなと思いました。

最後に一言。仕事はね、やっぱり作り出すもんやと思います。私はかつてアメリカに留学していた時、動物園デザインの師匠に対して「今、動物園の歴史を研究していて」ということを話した時に、すかさず「You study a history? I create a history.」と言われましたね。もうびっくりしました。それから私の物の考え方は大きく変わりました。私達もルーティンの仕事に甘んじることなく、今日の皆さんの話にあったように、新たなジャンルの仕事を作り出しましょう。そして、We create a history. 共に歴史をつくりましょう。

**森下** 良いお言葉で締めさせていただきまして、素晴らしいトーク会になったと思います。

それではこれで造園トーク会を終了したいと思います。



ニューヨーク セントラルパーク

# 阪神造園建設業協同組合50年の動き

年(暦)	組合員数(人)	事業所(地上部)数(箇所)	主な出来事	主な協賛会社
1965年(昭和40年)	25	3	9月28日 組合設立発起、11月発会式(大阪西園ホテル)	
1966年(同 41年)	24	7		
1967年(同 42年)	26	14	万博日本庭園造成工事	
1968年(同 43年)	27	45		
1969年(同 44年)	27	873	万博準備特需	
1970年(同 45年)	27	61		日本万国博覧会
1971年(同 46年)	28	120	協会会館を北区神山町に設立	
1972年(同 47年)	28	152		
1973年(同 48年)	28	資料なし	阪神芸術高等職業訓練校 開校	
1974年(同 49年)	29	178		
1975年(同 50年)	36	240	組合設立10周年記念式典(東洋ホテル)、造園技能検定実技試験業務受託	
1976年(同 51年)	35	35		
1977年(同 52年)	34	37		
1978年(同 53年)	34	39		
1979年(同 54年)	35	42		
1980年(同 55年)	35	45	大阪市上り船町野球場、造園工事	
1981年(同 56年)	35	49	有馬町公園造園工事	
1982年(同 57年)	34	53	第1回全国造園技能検定試験	
1983年(同 58年)	35	57	第2回全国造園技能検定試験	
1984年(同 59年)	37	99	第37回全国造園技能検定試験	
1985年(同 60年)	37	155	造園化と緑の推進委員会設立	
1986年(同 61年)	37	172		
1987年(同 62年)	37	177		
1988年(同 63年)	37	177		
1989年(平成元年)	37	397	朝霧花と緑の博覧会準備特需	
1990年(同 2年)	37	813		
1991年(同 3年)	37	284		
1992年(同 4年)	37	270	アメリカフーダ'92(USAキルビ)	
1993年(同 5年)	37	314	阪神造園高等職業訓練校休校、造園技能検定業務受託	
1994年(同 6年)	39	262		
1995年(同 7年)	36	310	組合設立30周年記念誌発行	
1996年(同 8年)	35	294		
1997年(同 9年)	34	325		
1998年(同 10年)	33	292		
1999年(同 11年)	33	360		
2000年(同 12年)	33	400		
2001年(同 13年)	23	240		
2002年(同 14年)	33	220		
2003年(同 15年)	31	180		
2004年(同 16年)	31	180		
2005年(同 17年)	30	180		
2006年(同 18年)	29	180		
2007年(同 19年)	28	190		
2008年(同 20年)	27	218	万博公園維持管理業務受託	
2009年(同 21年)	26	255		アークシヨック
2010年(同 22年)	25	325	大阪府営3公園指定管理者	
2011年(同 23年)	24	328		東日本大震災
2012年(同 24年)	24	374	大阪府営5公園指定管理者等、大阪府営2公園維持管理業務受託	
2013年(同 25年)	24	700	淀川河川公園運営維持管理業務受託	
2014年(同 26年)	24	738	9月28日 組合設立50周年記念式典(ホテル阪急インターナショナル)	
2015年(同 27年)	24		5月22日 第50回総会(淡路夢舞台園内会議場)、鶴見緑地維持管理業務受託	

## 組合50年の概要



1969年の万博会場と日本庭園



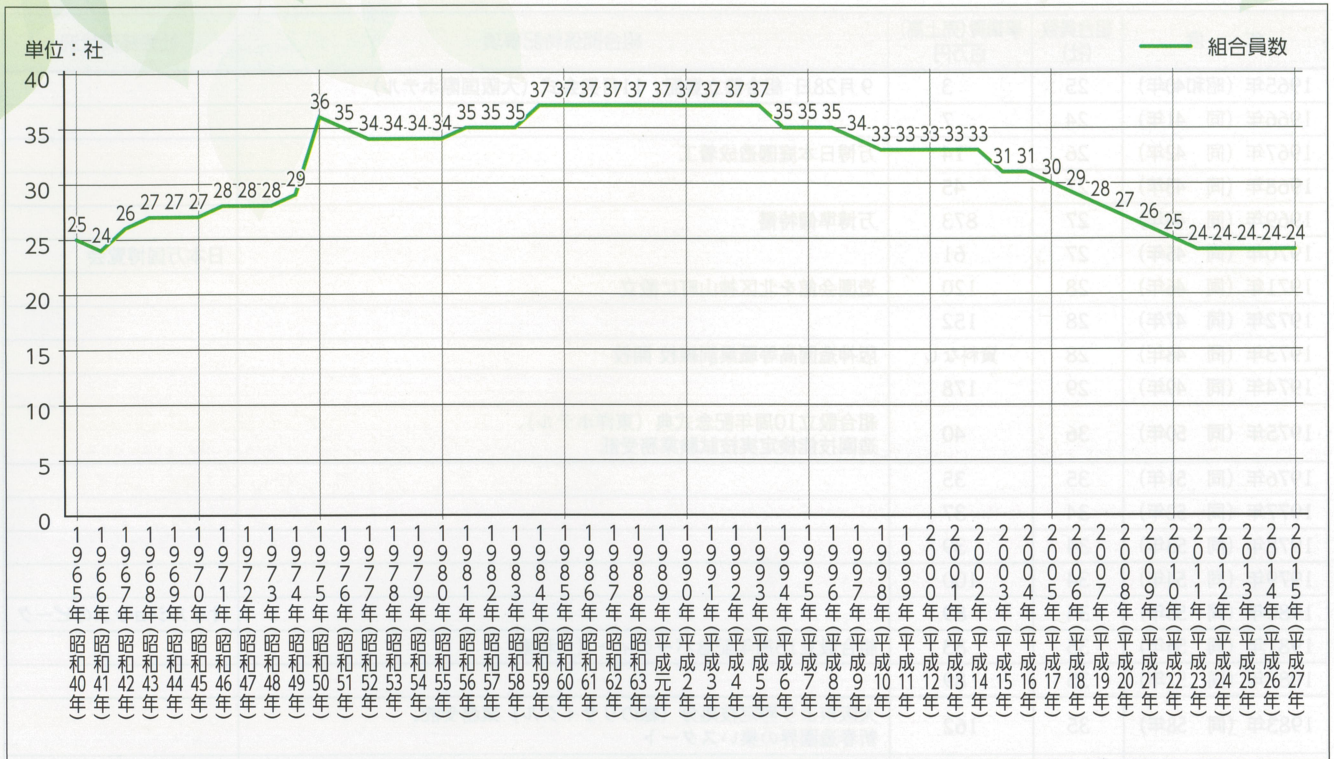
現在の万博公園日本庭園

組合50年記念誌発行

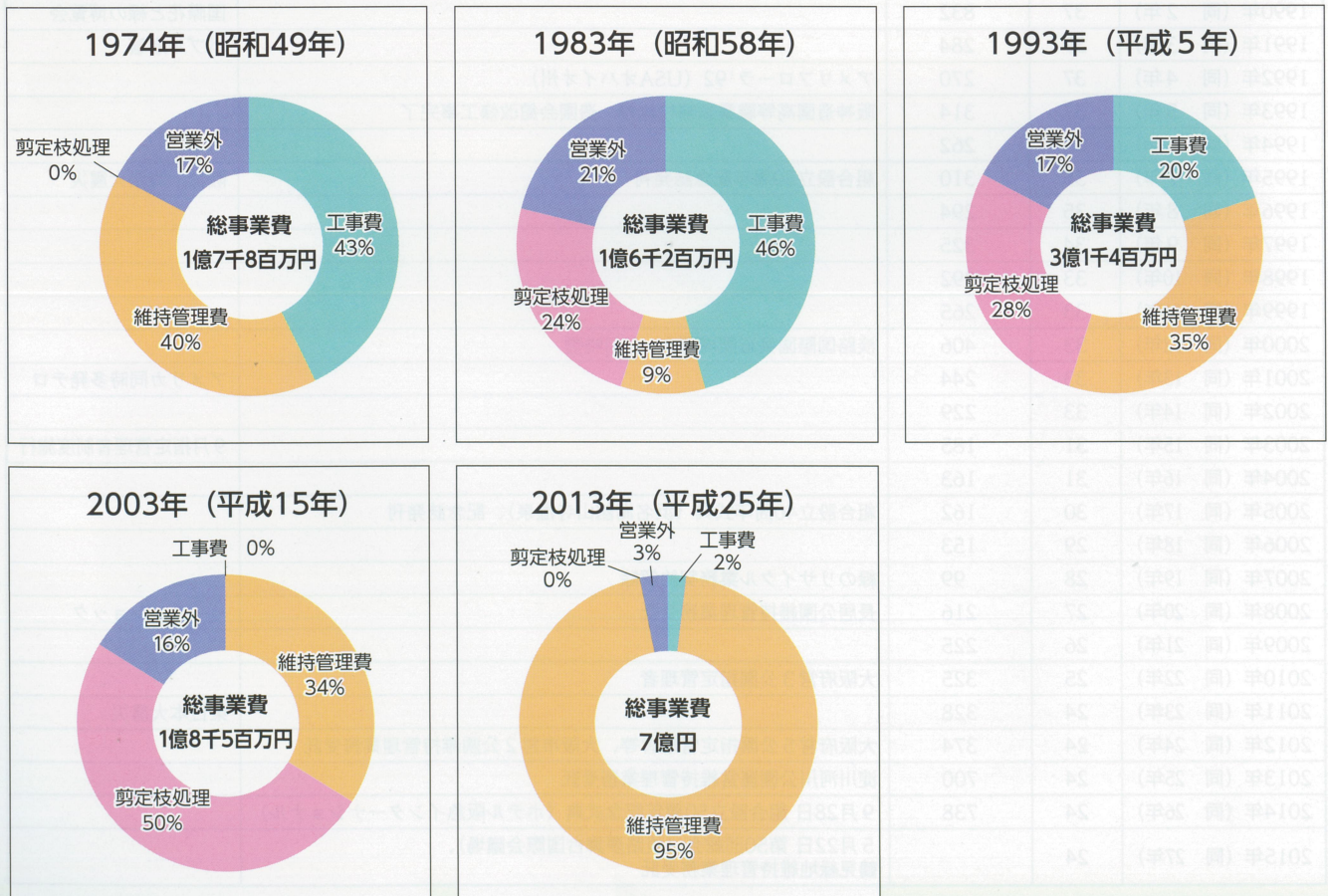
# 阪神造園建設業協同組合50年の動き

年 度	組合員数 (社)	事業費(売上高) 百万円	組合関係特記事項	社会経済状況
1965年(昭和40年)	25	3	9月28日 組合設立登記、11月発会式(大阪国際ホテル)	
1966年(同 41年)	24	7		
1967年(同 42年)	26	14	万博日本庭園造成着工	
1968年(同 43年)	27	45		
1969年(同 44年)	27	873	万博準備特需	
1970年(同 45年)	27	61		日本万国博覧会
1971年(同 46年)	28	120	造園会館を北区神山町に設立	
1972年(同 47年)	28	152		
1973年(同 48年)	28	資料なし	阪神造園高等職業訓練校 開校	
1974年(同 49年)	29	178		
1975年(同 50年)	36	40	組合設立10周年記念式典(東洋ホテル)、 造園技能検定実技試験業務受託	
1976年(同 51年)	35	35		
1977年(同 52年)	34	37		
1978年(同 53年)	34	39		
1979年(同 54年)	34	100		
1980年(同 55年)	34	89		オイルショックのピーク
1981年(同 56年)	35	83	組合設立15周年記念パーティー(大和殿)	
1982年(同 57年)	35	89		
1983年(同 58年)	35	162	大阪市より剪定枝処分(緑のリサイクル)業務受託、 新春造園界の集いスタート	
1984年(同 59年)	37	130	第1回全国都市緑化フェア(服部緑地)	
1985年(同 60年)	37	177	組合設立20周年記念式典(大阪国際ホテル)	
1986年(同 61年)	37	99	第37回全国植樹祭(大仙公園)	
1987年(同 62年)	37	155	国際花と緑の博覧会起工式	
1988年(同 63年)	37	177		関西新空港着工
1989年(平成元年)	37	397	国際花と緑の博覧会準備特需	
1990年(同 2年)	37	832		国際花と緑の博覧会
1991年(同 3年)	37	284		バブル崩壊
1992年(同 4年)	37	270	アメリフローラ'92(USAオハイオ州)	
1993年(同 5年)	37	314	阪神造園高等職業訓練校休校、造園会館改修工事完了	
1994年(同 6年)	35	262		
1995年(同 7年)	35	310	組合設立30周年記念誌発刊	阪神・淡路大震災
1996年(同 8年)	35	294		
1997年(同 9年)	34	325		
1998年(同 10年)	33	292		
1999年(同 11年)	33	265		
2000年(同 12年)	33	406	淡路国際園芸造園博覧会、USJ特需	
2001年(同 13年)	33	244		アメリカ同時多発テロ
2002年(同 14年)	33	229		
2003年(同 15年)	31	185		9月指定管理者制度施行
2004年(同 16年)	31	163		
2005年(同 17年)	30	162	組合設立40周年式典(浜名湖館山寺温泉)、記念誌発刊	
2006年(同 18年)	29	153		
2007年(同 19年)	28	99	緑のリサイクル業務契約解除	
2008年(同 20年)	27	216	長居公園維持管理業務受託	リーマンショック
2009年(同 21年)	26	225		
2010年(同 22年)	25	325	大阪府営3公園指定管理者	
2011年(同 23年)	24	328		東日本大震災
2012年(同 24年)	24	374	大阪府営5公園指定管理者等、大阪市営2公園維持管理業務受託	
2013年(同 25年)	24	700	淀川河川公園運営維持管理業務受託	
2014年(同 26年)	24	738	9月28日 組合設立50周年記念式典(ホテル阪急インターナショナル)	
2015年(同 27年)	24		5月22日 第50回総会(淡路夢舞台国際会議場)、 鶴見緑地維持管理業務受託	

# 組合員数の推移



# 事業費内訳の比較



## 阪神造園建設業協同組合 歴代理事長

代	氏名	在任期間
初代	森 俊一 (株)三芳園代表取締役	昭和40年9月28日～昭和43年11月28日
2代	木原 五市 阪神造園建設業協同組合	昭和43年11月29日～昭和46年6月6日
3代	木村源次郎 大阪造園土木(株)代表取締役	昭和46年6月7日～昭和48年5月31日
4代	當麻 英夫 三容興産(株)代表取締役	昭和48年6月1日～昭和52年6月12日
5代	阪上 秀雄 (株)植捨組専務取締役	昭和52年6月13日～昭和56年5月28日
6代	竹中 榮治 (株)竹中庭園代表取締役	昭和56年5月29日～昭和62年5月20日
7代	今里 忠夫 関西植木(株)代表取締役	昭和62年5月21日～平成3年5月21日
8代	森 敬介 (株)三芳園専務取締役	平成3年5月22日～平成7年5月18日
9代	稲治 清 (株)稲治造園工務所代表取締役	平成7年5月19日～平成9年5月19日
10代	當内 勲 (株)庭樹園代表取締役	平成9年5月20日～平成13年5月24日
11代	西富 義夫 (株)クリエイティブ阪急顧問	平成13年5月25日～平成21年5月26日
12代	森下 元之 阪神造園建設業協同組合	平成21年5月27日～平成25年5月30日
13代	坂上 信明 (株)昭和造園土木代表取締役	平成25年5月31日～現在

## 組合関係物故者 (敬称略/平成17年12月以降)

氏名	逝去年月日	所属企業名等	備考
奈須 正好	平成19年6月21日	(株)奈須造園 代表取締役社長	
崎山藤三郎	平成20年3月30日	当組合 元専務理事	元 大阪府
今里 忠夫	平成25年5月13日	関西植木(株) 取締役会長	
梅澤 清太	平成26年5月3日	関西植木(株) 代表取締役	
北野 禎三	平成26年12月4日	当組合 元顧問	元大阪市会議員
入江 重悦	平成27年1月21日	元阪神造園高等職業訓練校長	元 大阪市

# 阪神造園建設業協同組合 歴代役員一覧

\* 員外役員

年 月	理 事 長	副理事長	理 事	監 事	
S40年9月 ） S41年5月	森 俊一	岩田辰太郎 坂上 種博	荒木 芳邦 木山 匡司 富川 武男	植村 新市 竹中榮太郎	稲沢 辰次 辻本巳之介
S41年6月 ） S43年5月	森 俊一	岩田辰太郎 金岡 秀輔	荒木 芳邦 木山 匡司 竹中榮太郎	植村 新市 坂上 種博 富川 武男	稲沢 辰次 辻本巳之介
S43年6月 ） 7月7日	森 俊一	金岡 秀輔 木村源次郎	植村 新市 木山 匡司 竹中榮太郎 富川 武男	木原 五市* 坂上 種博 當麻 英夫	稲沢 辰次 辻本巳之介
S43年7月8日 ） 7月22日	森 俊一	金岡 秀輔 木村源次郎	植村 新市 木山 匡司 竹中榮太郎 富川 武男	木原 五市* 坂上 種博 當麻 英夫	稲沢 辰次 辻本巳之介
S43年7月23日 ） 11月28日	森 俊一	金岡 秀輔 木村源次郎 坂上 種博	植村 新市 木山 匡司 阪上 貞雄 當麻 英夫	木原 五市* 口丸 伊一 竹中榮太郎 富川 武男	稲沢 辰次 辻本巳之介
S43年11月29日 ） S45年5月	木原 五市*	金岡 秀輔 木村源次郎 坂上 種博	植村 新市 口丸 伊一 竹中榮太郎 富川 武男	木山 匡司 阪上 貞雄 當麻 英夫 森 俊一	稲沢 辰次 辻本巳之介
S45年6月 ） S46年5月	木原 五市*	金岡 秀輔 木村源次郎 坂上 種博	植村 新市 口丸 伊一 竹中榮太郎 富川 武男	木山 匡司 阪上 貞雄 當麻 英夫 森 俊一	稲沢 辰次 辻本巳之介
S46年6月 ） S48年5月	木村源次郎	木山 匡司 坂上 種博	加藤亮太郎* 竹中榮太郎 森 俊一	阪上 貞雄 當麻 英夫	口丸 伊一 富川 武男
S48年6月 ） S50年5月	當麻 英夫	阪上 秀雄 竹中 榮治	加藤亮太郎* 木山 匡司 坂上 種博	木村源次郎 口丸 伊一 西谷作太郎	植村 清一 横尾 秀雄
S50年6月 ） S52年5月	當麻 英夫	阪上 秀雄 竹中 榮治	加藤亮太郎* 木山 匡司 坂上 種博 西谷作太郎	木村源次郎 口丸 伊一 富川竹治郎	植村 清一 横尾 秀雄
S52年6月 ） S54年5月	阪上 秀雄	木山 匡司 西谷作太郎	植村 清一 木村源次郎 竹中 榮治 富川竹治郎	加藤亮太郎* 坂上 種博 當麻 英夫 森 敬介	辻 正俊 横尾 秀雄
S54年6月 ） S56年5月	阪上 秀雄	木山 匡司 坂上 種博	植村 清一 木村源次郎 辻 正俊 森 敬介	加藤亮太郎* 竹中 榮治 富川竹治郎	関 春夫 横尾 秀雄

年 月	理 事 長	副理事長	理 事	監 事	
S56年6月 ） S58年5月	竹中 榮治	今里 忠夫 坂上 種博	稲治 清 加藤亮太郎* 佐藤 経夫* 辻 正俊 山崎 太郎*	植村 清一 木山 匡司 関 春夫 森 敬介	田中 弘志 當内 勲
S58年6月 ） S60年5月	竹中 榮治	今里 忠夫 坂上 種博	稲治 清 岡田 和夫* 辻 正俊 森 敬介	植村 清一 関 春夫 當内 勲 山崎 太郎*	田中 正一 田中 弘志
S60年6月 ） S62年5月	竹中 榮治	今里 忠夫 坂上 種博	稲治 清 岡田 和夫* 辻 正俊 森 敬介	植村 清一 関 春夫 當内 勲 山崎 太郎*	田中 正一 田中 弘志
S62年6月 ） H1年5月	今里 忠夫	當内 勲 森 敬介	稲治 清 岡田 和夫* 竹中 榮治 辻 正俊	植村 清一 坂上 種博 田中 弘志 山崎 太郎*	岩崎 徹 田中 正一
H1年6月 ） H3年5月	今里 忠夫	當内 勲 森 敬介	稲治 清 植村 清一 坂上 種博 田中 正一	岩崎 徹 岡田 和夫* 竹中 榮治 山崎 太郎*	辻本 裕一 辻 正俊
H3年6月 ） H5年5月	森 敬介	田中 正一 當内 勲	稲治 清 植村 清一 坂上 種博 辻 正俊 待場 壮造*	今里 忠夫 岡田 和夫* 竹中 榮治 西富 義夫 森井 好郁*	石岡喜代麿 辻本 裕一
H5年6月 ） H7年5月	森 敬介	田中 正一 當内 勲	稲治 清 岡田 和夫* 竹中 榮治 辻本 裕一 待場 壮造*	今里 忠夫 坂上 種博 辻 正俊 西富 義夫	石岡喜代麿 高岡 功
H7年6月 ） H9年5月	稲治 清	辻 正俊 西富 義夫	石岡喜代麿 岡田 和夫* 坂上 種博 竹中 榮治 辻本 裕一 森 敬介	今里 忠夫 小山 博通* 崎山藤三郎* 田中 正一 當内 勲	市岡新五郎 木山 総
H9年6月 ） H11年5月	當内 勲	辻本 裕一 西富 義夫	石岡喜代麿 今里 忠夫 杭本 克彦 崎山藤三郎* 田中 正一	稲治 清 木山 総 小山 博通* 竹中 榮治 森 敬介	坂上 信明 松嶋 恵
H11年6月 ） H13年5月	當内 勲	辻本 裕一 西富 義夫	稲治 清 木山 総 小山 博通* 竹中 榮治 野呂 友昭*	今里 忠夫 杭本 克彦 崎山藤三郎* 田中 正一	坂上 信明 松嶋 恵

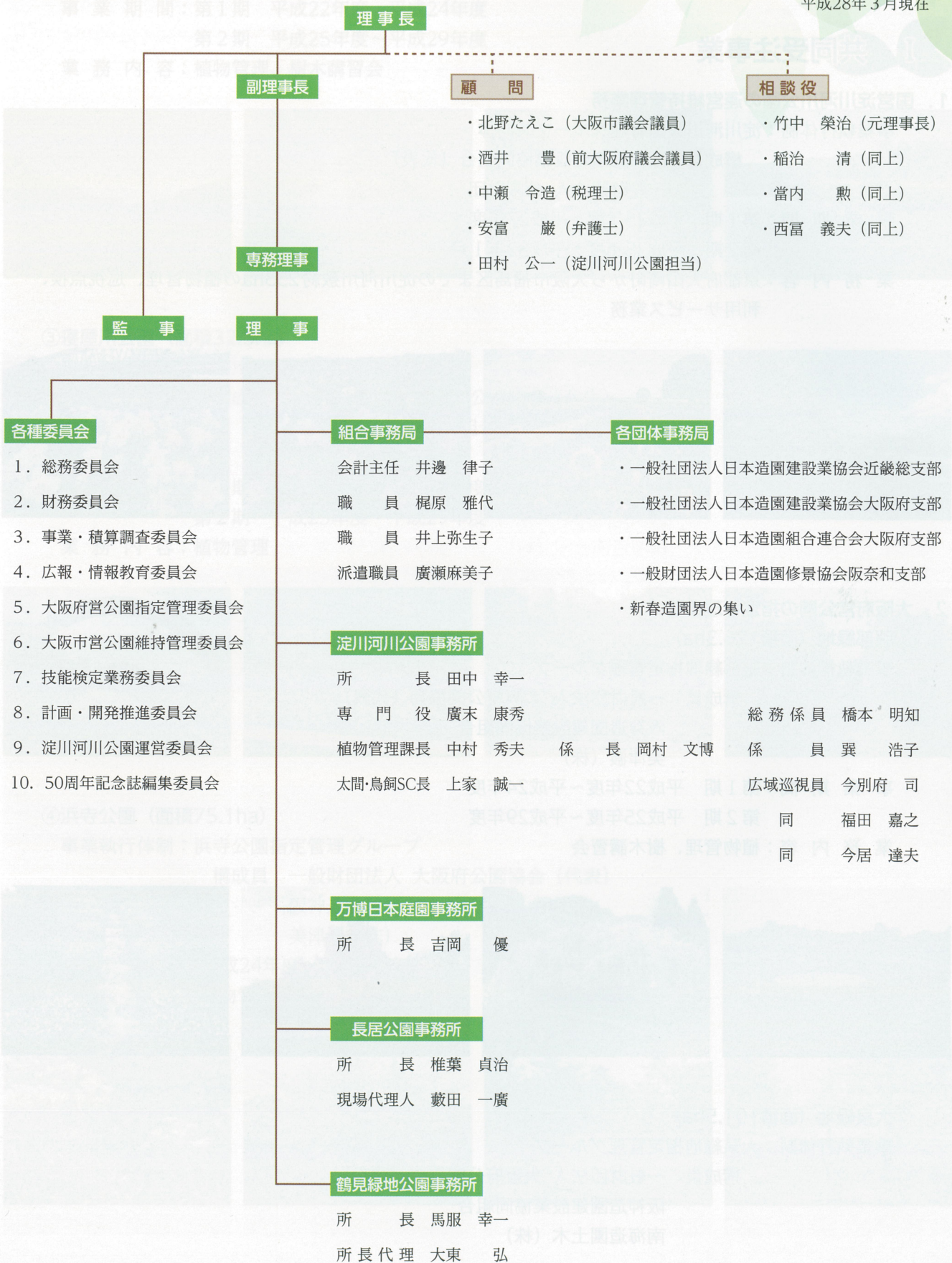
組合50年の概要

歴代役員一覧

年 月	理 事 長	副理事長	理 事	監 事	
H13年6月 ＼ H15年5月	西富 義夫	坂上 信明 辻本 裕一	稲治 清 木山 総 小山 博通* 當内 勲 松嶋 恵	今里 忠夫 杭本 克彦 崎山藤三郎* 野呂 友昭*	厚東 利昭 田中 正一
H15年6月 ＼ H16年5月	西富 義夫	坂上 信明 辻本 裕一	今里 忠夫 厚東 利昭 當内 勲	木山 総 田中 正一 野呂 友昭*	西谷 元 村田 善久
H16年6月 ＼ H17年5月	西富 義夫	坂上 信明	今里 忠夫 木山 総 田中 正一 野呂 友昭*	押田 博孝 竹中 禎敏 當内 勲	西谷 元 村田 善久
H17年6月 ＼ H19年5月	西富 義夫	坂上 信明 西谷 元	今里 忠夫 田中 正一 野呂 友昭*	木山 総 當内 勲 村田 善久	押田 博孝 竹中 禎敏
H19年6月 ＼ H20年5月	西富 義夫	坂上 信明 西谷 元	梅澤 清太 木山 総 田中 明男 野呂 友昭*	押田 博孝 竹中 禎敏 當内 勲	稲治 和彦 阪口 昌行
H20年6月 ＼ H21年5月	西富 義夫	坂上 信明 西谷 元	梅澤 清太 口丸伊佐夫 田中 明男 和田 充弘*	押田 博孝 竹中 禎敏 當内 勲	稲治 和彦 阪口 昌行
H21年6月 ＼ H23年5月	森下 元之*	坂上 信明 西谷 元	梅澤 清太 口丸伊佐夫 田中 明男 西富 義夫*	押田 博孝 竹中 禎敏 當内 勲 和田 充弘*	稲治 和彦 阪口 昌行
H23年6月 ＼ H25年5月	森下 元之*	坂上 信明 西谷 元	稲治 和彦 押田 博孝* 阪口 昌行 田中 明男	梅澤 清太 口丸伊佐夫 竹中 禎敏 和田 充弘*	奈須 正典 山口 義雄
H25年6月 ＼ H26年5月	坂上 信明	梅澤 清太 竹中 禎敏	稲治 和彦 口丸伊佐夫 田中 明男 森下 元之*	押田 博孝* 阪口 昌行 奈須 正典 山口 義雄	青山 宏 當内 匡
H26年6月 ＼ H27年5月	坂上 信明	竹中 禎敏	稲治 和彦 口丸伊佐夫 田中 明男 森下 元之*	押田 博孝* 阪口 昌行 奈須 正典 山口 義雄	大谷 義彦 當内 匡
H27年6月 ＼ 現在	坂上 信明	竹中 禎敏	稲治 和彦 阪口 昌行 當内 匡 森下 元之*	押田 博孝* 田中 明男 奈須 正典 山口 義雄	大谷 義彦 梶原 宏幸

# 阪神造園建設業協同組合の組織・スタッフ

平成28年3月現在



# 現在取り組んでいる事業

## I 共同受注事業

### 1. 国営淀川河川公園の運営維持管理業務

事業執行体制：淀川河川公園管理グループ共同体

構成員 阪神造園建設業協同組合（代表）

一般財団法人 公園財団

事業期間：第1期 平成25年度～平成27年度

第2期 平成28年度～平成32年1月

業務内容：京都府大山崎町から大阪市福島区までの淀川河川敷約233haの植物管理、巡視点検、利用サービス業務



### 2. 大阪府営公園の指定管理業務

#### ①服部緑地（面積126.3ha）

事業執行体制：服部緑地指定管理グループ

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）

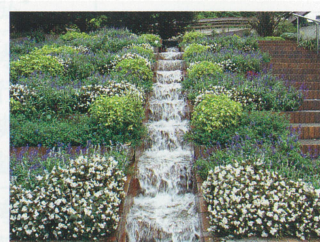
阪神造園建設業協同組合

美津濃（株）

事業期間：第1期 平成22年度～平成24年度

第2期 平成25年度～平成29年度

業務内容：植物管理、樹木講習会



#### ②大泉緑地（面積101.5ha）

事業執行体制：大泉緑地指定管理グループ

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）

阪神造園建設業協同組合

南海造園土木（株）

4. 事業期間：第1期 平成22年度～平成24年度  
 第2期 平成25年度～平成29年度  
 業務内容：植物管理、樹木講習会



### ③寝屋川公園（面積32.3ha）

事業執行体制：寝屋川公園指定管理グループ

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）

阪神造園建設業協同組合

美津濃（株）

事業期間：第1期 平成22年度～平成24年度  
 第2期 平成25年度～平成29年度

業務内容：植物管理



### ④浜寺公園（面積75.1ha）

事業執行体制：浜寺公園指定管理グループ

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）

阪神造園建設業協同組合

美津濃（株）

事業期間：平成24年度～平成28年度

業務内容：植物管理



### ⑤石川河川公園（面積73.7ha）

事業執行体制：石川河川公園指定管理グループ

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）  
阪神造園建設業協同組合

事業期間：平成25年度～平成29年度

業務内容：植物管理



### ⑥山田池公園（面積71.9ha）

事業執行体制：ハートフル山田池

構成員 一般財団法人 大阪府公園協会（代表）  
阪神造園建設業協同組合  
南海造園土木（株）  
（株）総合計画機構

事業期間：平成25年度～平成29年度

業務内容：植物管理



## 3. 大阪府宮枚岡公園維持管理業務

受注形態：指定管理者の一般財団法人 大阪府公園協会から受注

事業期間：平成24年度～平成28年度

業務内容：面積43.8ha、植物管理、梅林管理



#### 4. 大阪府営万博記念公園日本庭園樹木・景観創出業務

受注形態：大阪府から企画提案型で受注

事業期間：平成27年8月～平成30年7月

業務内容：面積26ha、日本庭園の樹木管理、景観形成



#### 5. 大阪市営公園維持管理業務

##### ①長居公園（面積65.7ha）

受注形態：指定管理者の一般財団法人 大阪スポーツみどり財団から受注

事業期間：第1期 平成20年度～平成23年度

第2期 平成24年度～平成27年度

業務内容：公園管理、植物園管理



##### ②八幡屋公園（面積12.4ha）

受注形態：指定管理者の一般財団法人 大阪スポーツみどり財団から受注

事業期間：平成24年度～平成27年度

業務内容：植物管理



### ③鶴見緑地公園（面積121.7ha）

受注形態：指定管理者の一般財団法人 大阪スポーツみどり財団から受注  
事業期間：平成27年度～平成30年度  
業務内容：主に山のエリアの植物管理、施設管理



## 6. 大阪市設9霊園の樹木維持管理業務

受注形態：指定管理者の一般財団法人 環境事業協会から受注  
事業期間：平成27年度～平成30年度  
業務内容：樹木管理

## 7. 大輪会の寄付による大阪市営公園植栽事業

受注形態：一般財団法人 大阪スポーツみどり財団との協定による大輪会支援事業の受注  
事業期間：平成26年度～平成29年度  
業務概要：毎年3公園の植栽設計、施工

## 8. 樹木調査・鑑定等

- 移植や撤去の対象となる樹木の現況調査や価値鑑定および移植費見積り等の業務や移植工事を受託。
- 公共による開発事業の縮小により受託件数は著しく減少しており、平成17年度から平成26年度までの10年間で5件の調査を実施。

## Ⅱ 事務受託事業

### 1. 造園技能検定実技試験業務

昭和48年より造園技能が国家検定制度に加えられ、その実技試験業務を受託。  
受託形態：大阪府職業能力開発協会との協力業務協定  
実施開始：昭和48年度  
実施会場：茨木市銭原農村公園（現在）  
業務内容：1級・2級・3級技能検定実技試験・要素試験の実施  
関連して組合独自で技能講習会を実施

## 最近10年間の受験者数

年度(平成)	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
級	1級	67	46	46	62	55	43	46	53	38	43
	2級	61	49	49	52	45	73	53	47	37	70
	3級	68	53	51	37	59	50	51	49	27	17
合計	196	148	146	151	159	166	150	149	102	130	

若年技術者数の減少により受験者数も漸減傾向にあります。



## 2. 造園関係団体の事務局業務

### ①一般社団法人 日本造園建設業協会近畿総支部事務局

業務内容：役員会、交流会の設定、案内

近畿地方建設局との意見交換会の設定、案内

植栽基盤診断士試験の実施協力、講習会の準備、案内

植栽基盤診断士補研修会の準備、案内

造園施工管理技術検定試験対策講習会の準備、案内

各種講習会・研修会の準備、案内

経理事務



### ②一般社団法人 日本造園建設業協会大阪府支部事務局

業務内容：総会、役員会の設定、案内

街路樹剪定士の認定研修会・試験の準備、案内

街路樹剪定士資格更新研修会の準備、案内

各種講習会・研修会の準備、案内

造園フェスティバルの準備

経理事務



### ③一般社団法人 日本造園組合連合会大阪府支部事務局

業務内容：総会、役員会の設定、案内

関西ブロック会議の設定、案内

庭園コンテストの準備

本部主催会議・行事への参加

各種講習会の準備、案内

経理事務、防災協定事務



#### ④一般財団法人 日本造園修景協会阪奈和支部事務局

業務内容：総会、幹事会の設定、案内  
講演会、見学会の設定、案内  
本部との連絡調整（会員情報、会費納入）  
経理事務



#### ⑤新春造園界の集い事務局

業務内容：代表者会議の設定、案内  
開催案内事務（名簿作成、発送等）  
会場、プログラム等の準備  
経理事務



## Ⅲ 共済・福利厚生事業

### 1. 請負業者賠償団体保険および傷害団体保険の包括契約

#### ①請負業者賠償団体保険

第三者（他人）を死傷させたり、第三者の財物に損害を与えた場合は、法律上の賠償責任を負うこととなりますが、その保証対策として保険会社（三井住友火災海上保険株式会社）との間に、毎年1年間の請負業者賠償団体保険契約を締結して、組合員への賠償負担軽減を図っています。

#### ②傷害団体保険

組合および組合員の役員・従業員・下請け（一人親方）が工作中・通勤中に事故で通院・入院・死亡された場合の補償として、保険会社（三井住友火災海上保険株式会社）との間に、毎年傷害団体保険契約を締結しています。

### 2. 貸付事業

組合員に対して最高500万円の限度内で事業資金の貸付をしています。

### 3. 研修会・講習会・セミナー等

組合員の事業経営や技術の改善向上を目指し、また組合事業に関する知識を習得するための教育・情報提供を目的として実施しています。

#### ①研修会・講習会

最近10年間に実施したテーマ

- 安全衛生講習会（平成23～27年度）
- 銘木クロマツのみどり摘み（平成23～27年度）
- チェーンソー&刈払機作業従事者安全衛生教育講習会（平成24～27年度）



銘木クロマツのみどり摘み

- 個人情報保護セミナー（平成24～25年度）
- 経営事項審査評点アップセミナー（平成24年度）
- 雇用調整助成金活用術説明会（平成24年度）
- 都市公園法講習会（平成25年度）
- 公的サービス研修会（平成25年度）
- 接遇マナー研修会（平成25・27年度）
- 青森県弘前公園桜剪定視察研修（平成25年度）
- 植栽基盤診断講習会（平成26年度）
- 人権問題研修会（平成27年度）
- マイナンバー講習会（平成27年度）
- 長崎県ハウステンボスガーデンショー・佐賀県吉野ヶ里公園造園研修（平成27年度）



長崎ハウステンボスのガーデンショー研修

## ②サロンミーティング

平成17年以降に実施したテーマ

- |        |                          |               |
|--------|--------------------------|---------------|
| 平成17年度 | 「園芸技術と造園」                | 講師：長村智司       |
|        | 「指定管理者制度について」            | 講師：加藤茂男       |
| 平成18年度 | 「造園に関わる環境－水・雨・排水」        | 講師：鷺尾金弥       |
|        | 「公園管理・運営業務マニュアル」         | 講師：辰巳信哉       |
| 平成19年度 | 「大阪でCM作ってます」             | 講師：平澤亮輔、宇沢さやか |
| 平成20年度 | 「労務契約法について」              | 講師：坂本千鶴子      |
|        | 「若手従業員育成マネジメント」          | 講師：安川直志       |
| 平成21年度 | 「公園の合理的・効率的植物管理」         | 講師：小野 隆       |
| 平成22年度 | 「大阪府の都市緑化事業」             | 講師：岡本圭司       |
|        | 「すこやか公園づくり」              | 講師：吉田昌弘       |
| 平成23年度 | 「地震BCPについて」              | 講師：大和田勝       |
| 平成24年度 | 「ランドデザイン・大阪」             | 講師：田中 猛       |
| 平成25年度 | 「造園建設業と公園マネジメント」         | 講師：荻茂壽太郎      |
| 平成26年度 | 「森林環境税導入による大阪の森林保全と都市緑化」 | 講師：田中 猛       |
| 平成27年度 | 「全国の自然再生事業の動きと今後の展開」     | 講師：養父志乃夫      |



平成25年度 造園建設業と公園マネジメント

## 4. 現代の名工・なにわの名工の推薦

- 厚生労働大臣が表彰する卓越した技能者（現代の名工）の造園部門に候補者を推薦  
組合関係者1名が受賞
- 大阪府知事が表彰する卓越した技能者（なにわの名工）の造園部門に候補者を推薦  
組合関係者2名が受賞

## IV 社会貢献事業

### 1. 寄付事業

- 大阪府立園芸高校に造園資材寄付（平成21～22年度）
- 浜寺公園にクロマツ20本寄付（平成25年度）

### 2. 緑化啓発イベント等の主催・支援・後援・協賛

- 大阪フラワーガーデンショー鶴見緑地（平成17～22年度）
- 長居公園各種イベント（平成21～22、24～26年度）
- 花らんまん2011靱公園（平成23年度）
- 万博公園ガーデンパーティー（平成23年度）
- 服部緑地各種イベント（平成22～26年度）
- 山田池公園フェスティバル（平成25～26年度）
- 寝屋川公園30周年フェスティバル（平成25年度）
- 淀川河川公園春秋植木市（平成25～27年度）



淀川河川公園春秋植木市

### 3. その他

- 東日本大震災復興支援：岩手県山田町の街路樹植栽支援（平成26～27年度）
- 公開造園フォーラム主催（平成26年度）
- 高島屋での「造園の魅力展」共催（平成27年度）



造園の魅力展

## V 加盟している組織・団体

- 大阪府中小企業団体中央会
- 大阪府職業能力開発協会
- 一般社団法人 日本公園緑地協会
- 一般社団法人 公園管理運営士会関西支部
- 大阪府官公需適格組合協議会
- 文化財庭園保存技術者協議会
- 一般財団法人 竹文化振興財団・竹文化振興協会
- 公益財団法人 東京都公園協会

## 株式会社 稲治造園工務所

代表者 稲治 隆一 代表取締役社長 稲治 和彦

〒562-0035

大阪府大阪市東淀川区東中津3丁目3番2号

電話番号 072-723-0033

FAX番号 072-723-3043

Eメール [info@inohi.co.jp](mailto:info@inohi.co.jp)

ホームページ <http://www.inohi.co.jp>

従業員数 50名

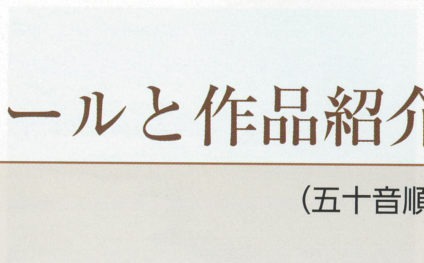
会社設立年 昭和40年

経歴 創業以来、これまで200を超えるプロジェクトを  
（得意分野） 一般土木、造園、植栽、

### 代表的施工事例



日本ホテル大阪新築工事



大阪河内某事務所ビル屋上庭園

# 組合員のプロフィールと作品紹介



(五十音順)

## 温故知新

## 内山緑地建設株式会社 関西支店

代表者 内山 隆一 代表取締役社長 内山 隆一

〒595-8501

大阪府大阪市東淀川区東中津3丁目3番2号

電話番号 072-723-0033

FAX番号 072-723-3043

Eメール [info@uchiyama-ryokuchi.co.jp](mailto:info@uchiyama-ryokuchi.co.jp)

ホームページ <http://www.uchiyama-ryokuchi.co.jp>

従業員数 会社 100名

会社設立年 昭和20年

経歴 創業以来、これまで200を超えるプロジェクトを  
（得意分野） 一般土木、造園、植栽、

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園

大阪河内某事務所ビル屋上庭園



神戸市内某工場内ヒートープ

造園会館



大阪河内某事務所ビル屋上庭園

造園会館

## 株式会社 稲治造園工務所

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 稲治 和彦
- ▶ 所在地：〒562-0005  
箕面市新稲2丁目3番2号
- ▶ 電話番号：072-723-0003
- ▶ FAX番号：072-723-3949
- ▶ Eメール：zoen@inaji.jp
- ▶ ホームページ：http://www.inaji.jp
- ▶ 従業員数：50名
- ▶ 会社設立年：昭和40年
- ▶ 特色：これまで200を超えるゴルフ場、サッカーフィールドの造成・改造・メンテナンス等のスポーツターフ事業をはじめとし、商業施設、住宅、教育施設、高速道路などの緑化造園事業を主力とし事業展開。また、独自の流通システムにより海外から資材を直輸入し、お客様の多種多様なニーズにお応えします。

社  
一  
言

温故知新

### 代表的施工事例



日本平ホテル新築造園工事



大阪府内ゴルフコース改造工事

## 内山緑地建設株式会社 関西支店

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 内山 剛敏  
執行役員支店長 梶原 宏幸
- ▶ 所在地：〒651-1505  
神戸市北区道場町日下部352番地の1
- ▶ 電話番号：078-951-6611
- ▶ FAX番号：078-951-6398
- ▶ Eメール：Ryokuchi41-kansai@uchiyama-net.co.jp
- ▶ ホームページ：http://www.uchiyama-net.co.jp/
- ▶ 従業員数：全社 180名
- ▶ 会社設立年：昭和28年
- ▶ 特色：これまでの蓄積したノウハウで緑化木生産から、設計企画・施工・維持管理までお客様の多様化したニーズにお答えすることが出来ます。

社  
一  
言

弊社が大阪出張所を開設したのが昭和36年、組合設立当初から会員に加えていただいております。半世紀もの間、阪神間の造園界を牽引されてきた阪神造園建設業協同組合のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 代表的施工事例



神戸市内某工場内ビオトープ



大阪府内某事務所ビル屋上庭園

## 大阪造園土木株式会社

- ▶ 代表者名：代表取締役 阪口 昌行
- ▶ 所在地：〒530-0027  
大阪市北区堂山町14番20号
- ▶ 電話番号：06-6361-0619
- ▶ FAX番号：06-6361-2134
- ▶ Eメール：info@osakazoen.co.jp
- ▶ ホームページ：http://www.osakazoen.co.jp/
- ▶ 従業員数：15名
- ▶ 会社設立年：昭和21年9月10日
- ▶ 特色：当社は公共工事の造園・土木工事全般、作庭・造園・ガーデニング・エクステリア設計施工を行うと共に、住宅・マンション・個人邸などの植栽（緑地）管理を行っています。また壁面緑化やベランダガーデン等の新しい分野にもチャレンジしています。更に枝や幹などを粉砕機でチップ化するリサイクル業務も行い、地球環境にも配慮した業務を行っています。

### 一言

歴史があるのに、なぜか新しい。それが大阪造園土木です。昭和21年9月 この会社は誕生しました。その70年の間、いくつもの作品を世の中に生み出してきました。その一つ一つの作品は、時代に、社会に、夢を刻んできました。そして、工事に関わった一人一人の汗と知恵が、現在の大阪造園土木を支えています。私達は造園力で豊かな緑の空間を創り、成長し続け、造園人としての歴史を創ります。

### 代表的施工事例



重森三玲作庭庭園移築工事  
(泉大津市東雲公園)



大阪府錦織公園石畳の里改修工事

## 株式会社 大阪緑花

- ▶ 代表者名：代表取締役 柁木 潤一
- ▶ 所在地：〒532-0005  
大阪市淀川区三国本町1-6-11-201
- ▶ 電話番号：06-6392-3190
- ▶ FAX番号：06-6395-3097
- ▶ Eメール：ryokuka@nike.eonet.ne.jp
- ▶ 従業員数：9名
- ▶ 会社設立年：昭和46年2月1日
- ▶ 特色：花壇管理  
(得意分野) メンテナンス工事

### 一言

大阪緑花は46年、花卉の生産業者として設立されました。設立当初の理念を引き継ぎ花壇の管理はもとより、造園業として蓄積された知識・ノウハウを生かし、造園業界の発展・技術の向上をめざしさらにはがんばります。

### 代表的施工事例



吹田市水辺新設工事



個人邸花壇設置工事

# 株式会社 大西東山造園

- ▶代表者名：代表取締役 大西 新
- ▶所在地：〒581-0872  
八尾市郡川4丁目187番地
- ▶電話番号：072-941-6541(代)
- ▶FAX番号：072-941-3521
- ▶Eメール：oonishiz@apricot.ocn.ne.jp
- ▶ホームページ：http://www.oonishiz.jp/oonishiz.htm
- ▶従業員数：17名
- ▶会社設立年：昭和42年
- ▶特 色：植栽工事・造園外構工事  
(得意分野)

## 一言

主に建設業界大手各社の作業所・工事所での外構植栽工事を行っており、又それに付随する設計管理工事を行っています。  
新しい緑化手法、植栽基盤改良にも注目しています。

## 代表的施工事例



長吉東部1号公園新設工事



(仮称) 八尾市・シャーマゾン大北邸  
新築工事

# 関西植木株式会社

- ▶代表者名：代表取締役 坂上 民雄
- ▶所在地：〒550-0023  
大阪市西区千代崎2丁目22番21号
- ▶電話番号：06-6581-3401
- ▶FAX番号：06-6581-2112
- ▶Eメール：knsueki@silver.ocn.ne.jp
- ▶従業員数：12名
- ▶会社設立年：昭和23年2月21日
- ▶特 色：公共工事（公園工事、維持管理工事）  
(得意分野) 民間工事（維持管理工事）

## 一言

「信用を築くは難しく、失するは易し」の社訓のもと、顧客の安心感と満足感を得られる企業をモットーに、環境の整備と保全に努めます。

## 代表的施工事例



阪和自動車道 有田地区造園工事



寝屋川流域下水道鴻池水みらいセンター  
植栽工事

## 関西造園土木株式会社

- ▶代表者名：代表取締役 東 真
- ▶所在地：〒652-0047  
神戸市兵庫区下沢通2丁目2番21号
- ▶電話番号：078-575-0451
- ▶FAX番号：078-575-0455
- ▶Eメール：office@kanzo.com
- ▶ホームページ：http://www.kanzo.com
- ▶従業員数：27名
- ▶会社設立年：昭和21年12月21日
- ▶特色：公共工事から企画提案に基づいた民間工（得意分野）事、メンテナンスに至るまで幅広い業務を行う。特に芝草の分野について高い専門性を有しております。

**社** わが社は『花と緑で快適空間を創造する会社』  
です。  
**言** 私たち全社員（造園サービス企業）として  
【お客様に好かれる】【お客様の役に立つ】  
【お客様に信頼される】をモットーに日々行動  
し、お客様をファンにします。

### 代表的施工事例



岡本公園拡張地整備工事



北海道ガーデンショー2015大雪  
山 宴

## 関西緑地開発株式会社

- ▶代表者名：代表取締役 岡田 博文
- ▶所在地：〒562-0025  
箕面市栗生外院6丁目2番31号
- ▶電話番号：072-729-3317
- ▶FAX番号：072-729-2810
- ▶Eメール：Kansai-ryokuchi@globe.ocn.ne.jp
- ▶従業員数：7名
- ▶会社設立年：昭和28年2月16日
- ▶特色：日本庭園全般  
（得意分野）

**社** 五十周年おめでとうございます。  
**言** 弊社は、組合設立当初より組合員として、大阪府内の公共事業や企業、個人宅等の造園施工管理事業を行っております。  
今後も、阪神造園建設業協同組合の一員として、伝統ある美しい日本の庭園を守りながら、その魅力を伝えるとともに、造園工事業の発展に努める所存です。

### 代表的施工事例



箕面市指定保護樹木管理工事 剪定前



箕面市指定保護樹木管理工事 剪定後

## 近鉄造園土木株式会社

- ▶ 代表者名：取締役社長 奥田 多津雄
- ▶ 所在地：〒542-0012  
大阪市中央区谷町9丁目5番24号  
登喜和ビル5階
- ▶ 電話番号：06-6711-0602
- ▶ FAX番号：06-6711-0603
- ▶ Eメール：honten@kintetsu-zd.co.jp
- ▶ ホームページ：http://www.kintetsu-zd.co.jp
- ▶ 従業員数：70名
- ▶ 会社設立年：昭和51年9月
- ▶ 特 色：公園緑地等の修景整備、戸建・マンション（得意分野）ン・大規模施設等の外構植栽など造園土木に関する設計・施工を行うとともに、ゴルフ場・スペイン村などのスポーツレジャー施設、美術館・博物館などの文化施設、大学・病院・工場・マンション・ビル等の植栽管理業務を行っています。

**一言** 私たちは、緑豊かな環境づくりを通じて暮らしの中に安らぎと潤いを提供し、誠実な企業活動により人々の信頼に応えます。

### 代表的施工事例



某企業京都工場の造園工事①



某企業京都工場の造園工事②

## 京阪園芸株式会社

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 宮城 和光
- ▶ 所在地：〒573-0061  
枚方市伊加賀寿町1番5号
- ▶ 電話番号：072-844-1134
- ▶ FAX番号：072-846-4841/072-844-3926
- ▶ Eメール：k-murashima@keihan-engei.com
- ▶ ホームページ：http://www.keihan-engei.com
- ▶ 従業員数：105名
- ▶ 会社設立年：昭和30年12月23日
- ▶ 特 色：造園土木工事及び、緑化工事の設計施工（得意分野）ならびに管理、園芸売店及び貸植木業の経営ならびに室内装飾の設計施工、土木工事および農園芸関係出版物の刊行ほか、花と緑に関するあらゆる分野に精通。近年では舗装工事、石工事、水道施設工事の設計施工ならびに管理にも実績。

**一言** 近年注目を浴びる環境関連事業において、経営理念にある、顧客の「快適な生活環境創造」に向け、歴史的遺産の継承からさまざまな取り組みを加速中。

### 代表的施工事例



世界遺産・平等院の「藤棚」の樹勢回復



年間を通じての治療風景

## 株式会社 三芳園

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 森 哲朗
- ▶ 所在地：〒542-0012  
大阪市中央区谷町6丁目4番8号  
新空堀ビル308号室
- ▶ 電話番号：06-6777-6756
- ▶ FAX番号：06-6777-6725
- ▶ Eメール：florist-sanpoen@leaf.ocn.ne.jp
- ▶ ホームページ：f-sanpoen.co.jp
- ▶ 従業員数：35名
- ▶ 会社設立年：昭和26年4月2日（創業大正2年：1913年）
- ▶ 特色：○各種造園設計・工事・管理に対応致します。  
（得意分野） ○生花部門（代表店舗・リーガロイヤルホテル店）  
も併設しており、造園・ガーデニングのみならず、  
室内装飾・イベント装飾・観葉植物リースや  
ブライダル・ギフトに至るまで、フラワー&グリー  
ンのことならトータルでサポート致します。

### 一言

～100年ブランド～  
1913年の創業以来、100年に亘り、母なる大地からの恵みである『緑の潤い』を弊社は皆様にお届けしてまいりました。その間、業界創成に携わらせて頂くと共に、伝統と革新に溢れた匠の技を磨き、造園・生花両部門において数多くの大会入賞・チャンピオンを輩出させて頂きました。これからの100年先に想いを馳せながら、これまで培った熟練の技に加え新たな挑戦により革新的な匠の技を磨き続けてまいります。

### 代表的施工事例



ファインズ（防犯砂利工事）



御堂筋銀杏並木

## 株式会社 昭和造園土木

- ▶ 代表者名：代表取締役 坂上 信明
- ▶ 所在地：〒532-0003  
大阪市淀川区宮原2丁目12番14-513号
- ▶ 電話番号：06-6391-7363
- ▶ FAX番号：06-6385-9621
- ▶ Eメール：syouwa1@pearl.ocn.ne.jp
- ▶ 従業員数：17名
- ▶ 会社設立年：昭和42年12月21日
- ▶ 特色：
  - 心をこめた経験と技術により10年、20年先をも考えた施工で豊かな環境づくりを創造。
  - 「緑を育てるとともに人も育てる」積み重ねた経験に基づいた確かな技術。
  - 緑と石の空間創造。

### 一言

- 品質第一に徹し、常に顧客の満足と信頼を得る工事を実施します。
- 自然とともに年輪を刻むきょう、そしてあすへ…思い出に残る美しい風景は、私たちの技術が支えます。
- 技術の追求を継承します。

### 代表的施工事例



「恋人の聖地」淡路SAモニュメント・遊歩道設置工事



吹田操車場跡地 土地区画整理事業  
1号緑地及び1号街区公園整備工事

# 株式会社 関造園土木

- ▶ 代表者名：代表取締役 関 茂
- ▶ 所在地：〒560-0085  
豊中市上新田1丁目10番10-201号
- ▶ 電話番号：06-6871-2783
- ▶ FAX番号：06-6832-7863
- ▶ Eメール：ss-sekizouen@fitcall.ne.jp
- ▶ 従業員数：2名
- ▶ 会社設立年：昭和44年1月29日
- ▶ 特色：永年の造園技術を生かし、主に民間のマ  
(得意分野)ンション管理に重点をおいて、業務の拡  
大を図っています。

社  
言

今まで、学んだ力で町の環境を壊さないため、  
技術・努力を今後も続けたいと思います。

## 代表的施工事例



Mマンション



T邸

# 株式会社 竹中庭園

- ▶ 代表者名：代表取締役 竹中 禎敏
- ▶ 所在地：〒583-0881  
羽曳野市島泉9丁目18番30号
- ▶ 電話番号：072-954-4161
- ▶ FAX番号：072-952-0717
- ▶ Eメール：takenaka@silver.ocn.ne.jp
- ▶ ホームページ：takenaka-teien.com
- ▶ 従業員数：21名
- ▶ 会社設立年：昭和32年6月（創業 明治25年4月）
- ▶ 特色：造園工事全般と共に、緑地管理にも力を  
(得意分野)入れています。独立性のある壁面緑化を  
設計・施工。  
指定管理者制度により、府営公園を10年  
間管理・運営しております。

社  
言

会社創業より5代目社長として、厳しい世情で  
はありますが、時勢を捉え特色のある企業作り  
を心掛け頑張っております。時代と共に緑に関  
する認識も変わりつつあり、幅広くニーズを捉  
え、みどりに関する取組みを行っていきます。

## 代表的施工事例



イオンモール和歌山



某老人ホーム（宝塚市）

## 株式会社 田中造園土木

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 田中 明男
- ▶ 所在地：〒532-0024  
大阪市淀川区十三東3丁目5番4号
- ▶ 電話番号：06-6100-1128
- ▶ FAX番号：06-6101-1128
- ▶ Eメール：kktnkz-d@mail.infomart.or.jp
- ▶ ホームページ：http://www.kaigisho.com/kktnkz-d
- ▶ 従業員数：12名
- ▶ 会社設立年：昭和38年10月10日
- ▶ 特色：各種イベント（催事）会場の花緑の空間（得意分野）づくり（イベントガーデン）の設計、施工に豊富な経験と実績を持っています。2010年台北国際花博には出展要請を受け、室内庭園を海外出展しました。

### 社一言

創業者の田中正一社長は「緑を建設する！」の意気高く、千里ニュータウンや大阪万博、沖縄海洋博などのビッグプロジェクトに参画しました。以来五十有余年「緑陰街満」と染め上げた法衣は変わらぬ職能の追求と職業奉仕の証です。

### 代表的施工事例



2010台北花博出展庭園



造園の魅力展 展示

## 株式会社 辻本龍松園

- ▶ 代表者名：代表取締役 辻本 忠弘
- ▶ 所在地：〒542-0075  
大阪市中央区難波千日前15番17号
- ▶ 電話番号：06-6634-9307
- ▶ FAX番号：06-6634-9308
- ▶ Eメール：tujimoto@ryushouen.com
- ▶ ホームページ：http://www.ryushouen.com
- ▶ 従業員数：32名
- ▶ 会社設立年：昭和47年1月5日
- ▶ 特色：造園工事及び一般土木工事の設計施工（得意分野） 植栽維持管理

### 社一言

21世紀は環境の時代とされていますが、私たち人間が住みよい環境を作るには生態学や生物の生息空間の研究を重ね、自然や生物の住む環境をいかに良くするかという事です。当社は長年培ってきた技術と経験を生かし、環境緑化を通じて社会に貢献する企業を目指しています。

### 代表的施工事例



なんばパークス屋上緑化植栽工事



梅田北ヤード植栽工事

## 株式会社 庭樹園

- ▶ 代表者名：代表取締役 當内 匡
- ▶ 所在地：〒543-0031  
大阪市天王寺区石ヶ辻町3番12号
- ▶ 電話番号：06-6773-0661
- ▶ FAX番号：06-6773-1810
- ▶ Eメール：teijy3@teijyuen.com
- ▶ ホームページ：http://teijyuen.com
- ▶ 従業員数：16名
- ▶ 会社設立年：昭和47年（創業明治10年）
- ▶ 特色：自然再生、危険木診断、樹木治療、屋上（得意分野）緑化、壁面緑化、企画提案

### 一言

「緑ゆたかに 心ゆたかに」  
造園のプロフェッショナルとして技術やサービスを研鑽し、美しく豊かな緑あふれる空間を創造し、住まい・都市に潤いを与え、人々の心を豊かにしていきます。

### 代表的施工事例



自然再生



危険木診断

## 東光園緑化株式会社 関西支店

- ▶ 代表者名：代表取締役 田丸 敬三  
取締役 関西支店長 塚本 敏夫
- ▶ 所在地：〒530-0044  
大阪市北区東天満1丁目11番13号
- ▶ 電話番号：06-6355-2412
- ▶ FAX番号：06-6355-2432
- ▶ Eメール：kansai@tokoen.jp
- ▶ ホームページ：http://www.tokoen.jp
- ▶ 従業員数：8名
- ▶ 会社設立年：（関西支店開設）昭和44年6月
- ▶ 特色：創業以来、大規模な公園緑地から球技場、民間外構工事、学校法人、個人邸の庭園まで多くの工事施工や植栽・洋芝球技場等の管理実績を誇りますが、最近では屋内のアトリウムや高層ビルの屋上緑化といった常に新たな造園技術に挑戦しております。特に屋上緑化については、パイオニア企業として、その長い経験とノウハウから一歩進んだ提案をしております。

### 一言

昭和30年代より人工土壌を用いた人工地盤緑化を手がけ、40年以上経過した現在でも元気に生育し、数多くの人達へ緑の潤いを与え続けている事が何ものにも代え難い技術の証です。  
これからも多くの人達に潤いを与え続け、地域の環境保全に緑を通して貢献し、顧客の要望に合う信頼される造園を提供します。

### 代表的施工事例



関西医科大学校方キャンパス



いぎきの森球技場

## 株式会社 奈須造園

- ▶ 代表者名：代表取締役 奈須 正典
- ▶ 所在地：〒561-0881  
豊中市中桜塚3丁目12番8号
- ▶ 電話番号：06-6841-1330
- ▶ FAX番号：06-6841-5182
- ▶ Eメール：nasuzoen@viola.ocn.ne.jp
- ▶ ホームページ：http://nasuzoen.com/70936/
- ▶ 従業員数：7名
- ▶ 会社設立年：昭和53年1月13日
- ▶ 特色：作庭・造園工事（和風庭園・ガーデン  
（得意分野）グなど）  
庭園管理（庭木剪定・病虫害駆除・芝生  
手入れなど）  
ビル、マンション、事業所など植栽管理

一社

お客様の立場になって考える

一言

お客様の立場になって施工する

お客様の満足を私どもの満足

### 代表的施工事例



野田中央公園（豊中市）



花の文化園出展

## 株式会社 西川造園

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 西川 浩司
- ▶ 所在地：〒573-0093  
枚方市東中振1丁目18番70号
- ▶ 電話番号：072-833-8998
- ▶ FAX番号：072-832-1366
- ▶ Eメール：nishikawa-zoen@hi-ho.ne.jp
- ▶ ホームページ：http://nishikawazoen.co.jp/
- ▶ 従業員数：11名
- ▶ 会社設立年：昭和4年5月1日
- ▶ 特色：自社部門で企画設計から施工・維持管理と、  
（得意分野）一貫した管理体制で携わることができ、マン  
ション・商業施設等の大規模緑地から個人宅  
のお庭まで、幅広い物件に対応しています。  
また、屋上植栽に関して豊富な施工実績があり、  
培った経験と技術で様々な現場に対応で  
きます。

一社

「植えたらつかせ」を合言葉に、緑と人をつなぐ空間づくりを目指しています。

設計・施工・管理のどの段階においても、お客様に対しては丁寧な説明と誠実な対応を、そして植物に対しては確かな知識と愛情を持って接する様、常に心掛けています。創業の地である枚方で、地域に根差し、広く貢献できる企業でありたいと考えています。

### 代表的施工事例



小倉山荘 竹生の郷



関西外国語大学 ICC

## 阪神園芸株式会社

- ▶ 代表者名：代表取締役 山村 務
- ▶ 所在地：本社  
〒663-8165 西宮市甲子園浦風町16番24号  
大阪支店  
〒565-8540 吹田市千里万博公園1番5号
- ▶ 電話番号：0798-47-3538
- ▶ F A X 番号：0798-41-4116
- ▶ ホームページ：<http://www.hanshingenji.co.jp/>
- ▶ 従業員数：108名
- ▶ 会社設立年：昭和43年9月
- ▶ 特 色：造園、緑化工事・レンタルプランツ、グリーンディスプレイ・緑地維持管理・運動施設、グラウンドの整備、維持管理・公園施設などの運営管理

### 一言

総合緑化事業会社として緑地に関する調査、企画、施工から維持管理及び公園施設等の運営管理まで一貫したサービスを手がけています。永年培った豊富な経験と高いデザイン力、技術力を活かし、お客様のニーズに、誠実にお応えします。  
阪神甲子園球場で培ったノウハウで活力あふれるアクティビティをサポートします。

### 代表的施工事例



神戸布引ハーブ園



阪急西宮ガーデンズ

## 富士造園土木株式会社

- ▶ 代表者名：代表取締役 金岡 昭雄
- ▶ 所在地：〒665-0881  
宝塚市山本東2丁目6番17号
- ▶ 電話番号：0797-88-0501
- ▶ F A X 番号：0797-88-0505
- ▶ Eメール：Fuji-z@gaea.ocn.ne.jp
- ▶ ホームページ：<http://fujizoendoboku.com/>
- ▶ 従業員数：13名
- ▶ 会社設立年：明治22年
- ▶ 特 色：老舗としての自覚のもとに、日本庭園の（得意分野）基本的な植込み、景石の据付、なお、石庭、池泉、茶庭の工事、竹垣、柴垣等の製作等で、お客様のニーズに応えるべく、適切な作業を行い、努力をしております。

### 一言

私達の組合が50周年を迎え、大変嬉しいことです。お祝いを申し上げます。弊社も、明治22年の創業から120年をすぎています。この長い間、得意先の方々や同業者の方々に支えられて、大きなトラブルもなく、順調な道を歩んできました事に感謝とお礼を申し上げます。今後もこの絆を大切に守り、時代の変化に即した造園の在り方を考え、実行し喜ばれる業者を目指して頑張る所存です。

### 代表的施工事例



森の中の銀行



ビルの中の石庭

## 株式会社 明治園

- ▶ 代表者名：代表取締役 〇丸 茂幸
- ▶ 所在地：〒664-0001  
伊丹市荒牧1丁目5番4号
- ▶ 電話番号：072-781-1540
- ▶ FAX番号：072-781-7343
- ▶ Eメール：meijien@poporo.ne.jp
- ▶ ホームページ：http://www.k-meijien.com/
- ▶ 従業員数：10名
- ▶ 会社設立年：昭和2年7月1日
- ▶ 特色：豊富な実績  
(得意分野) 高度な技術  
顧客満足度100%

一言

人と自然の調和、新旧融合を取り入れた温かみのある環境緑化創りを目指し「花と緑で心にゆとりを！」合言葉に緑を創造し、心に安らぎと癒しを提供致します。

### 代表的施工事例



工場緑化工事



公園リニューアル工事

## 株式会社 山都屋 大阪営業所

- ▶ 代表者名：代表取締役社長 内山 淳  
大阪営業所長 益田 昌昭
- ▶ 所在地：〒537-0025  
大阪市東成区中道2丁目5番15-310
- ▶ 電話番号：06-6973-1660
- ▶ FAX番号：06-6973-0154
- ▶ Eメール：yamatoya@po.harenet.ne.jp
- ▶ ホームページ：http://www.yamatoya-net.com
- ▶ 従業員数：40名
- ▶ 会社設立年：昭和22年11月6日
- ▶ 特色：造園、外構工事の設計施工。ビオトープ  
(得意分野) (ハビタットガーデン) の設計施工。  
樹木医による樹木の診断、治療等。  
緑化資材、樹木保護材、土壌改良剤の生産・販売。

一言

ゆたかな緑を創造する技術と「感謝・親切・信用・奉仕」を尊重し、地域社会の発展に貢献します。

### 代表的施工事例



〇邸庭園工事



S教会造園工事



## 編集後記

1965年9月に当組合の登記がされて、2014年9月28日に当組合は50周年を迎え、2015年5月22日には第50回通常総会が開催されました。

50周年記念事業として、2014年9月28日の設立50周年目に公開造園フォーラムと記念式典ならびに祝賀会を、ホテル阪急インターナショナルで開催し、併せて、50周年記念誌を刊行するはこびとなりました。記念誌は10年ごとの周期で刊行していて、今回は5回目の記念誌になります。

内容は公開造園フォーラムでの記念対談と造園トーク会の記事をメインにして、50年間の組合の記録をコンパクトにまとめ、また、組合員24社の紹介を載せております。

記念対談と造園トーク会では、造園をもっと市民生活に身近なものにするために、また、造園職能の魅力と拡散と挑戦を、色々な見方から示唆されております。閉塞感のある造園界の現状を変革し、将来の造園の仕事創造していく動機づけになりましたら幸いです。

50年間の記録には時世に応じた組合事業の推移が映し出されていますし、現在取り組んでいる事業が幅広く行われていることも分かります。半世紀の変遷を感じます。

組合員24社のプロフィールにはそれぞれの特徴が表れていて、改めて当組合の構成員の伝統と蓄積された業績が滲み出ているような気がしました。組合員の皆さまのご協力に感謝いたします。

平成28年3月

50周年記念誌編集委員会

委員長 森下 元之

委員 稲治 和彦 押田 博孝

久保田晃司 阪口 昌行

事務局 井上弥生子